

日本語

バージョンアップ情報

本体ソフトウェア (V2.5) とネットワーク機能ソフトウェア (V3.12) で更新される主な機能

Station モードの接続先設定

セットアップメニューから接続したいアクセスポイントに接続設定することができるようになりました。

NETWORK SET > Station Set で接続設定することができます。

ご注意

NETWORK SET > Station Set で接続設定するには、NETWORK SET > Network Mode で Station を選択してください。

ネットワーククライアントモードの接続先複数設定

ネットワーククライアントモードの接続先設定を 3 つまで設定することができるようになりました。

- NETWORK SET > NW Client Mode > Preset Select でプリセットの選択ができます。
- NETWORK SET > NW Client Edit でプリセットの編集ができます。

プロキシー記録の On/Off 機能

アサインブル機能にプロキシー記録の On/Off 設定を追加しました。

Proxy を割り当てたアサインブルボタンを押すことで、プロキシー記録の On/Off を切り替えることができます。

ご注意

機能を有効にするには、NETWORK SET > NW&Proxy/USB を Network&Proxy にしてください。

プロキシーファイルの自動転送

インターネット接続状態のときに、プロキシー記録を終了すると Upload Settings でデフォルト設定されたサーバーに対して、自動的にプロキシーファイルを送信する機能を追加しました。

NETWORK SET > Proxy File > Auto Upload で設定することができます。

ご注意

あらかじめ Web メニュー、または「Content Browser Mobile」アプリケーションの Upload Settings で転送するサーバーを設定してください。

本体ソフトウェア (V2.4) とネットワーク機能ソフトウェア (V3.02) で更新される主な機能

XDCAM air 対応

XDCAM air は、ソニーが提供するクラウドサービスです。このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域について XDCAM air のサイトをご確認ください。

<https://www.xdcam-air.com>

詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

XDCAM air の CCM と接続してご使用になると、高品質なストリーミングと CCM を経由してファイルを転送することができます。

- NETWORK SET > NW Client Mode > CCM Address に XDCAM air の URL を入力してください。
ネットワーククライアントモードが有効になり、XDCAM air と接続します。

- 接続が完了したら、XDCAM air の操作により、ライブ映像の伝送が開始されます。

詳しくは、XDCAM air のヘルプをご覧ください。

ご注意

User Name および Password を入力する際、本機では「\」（バックスラッシュ）が「¥」で表示されます。

Web メニューについて

Web メニュー画面の左上の □ をタップして表示される設定メニュー項目に「OSS Information」を追加しました。

ご注意

設定メニュー「Device Status」の表示項目から「OSS Information」を移動しました。

記録終了時に自動的にファイル転送を開始する

Web メニューで「Auto upload」を「On」にすると、記録終了時に SD カードに保存したファイルの転送を自動的に開始します。このとき、カムコーダーがプランニングメタデータに基づいて、オリジナルファイルの情報を継承した同一デュレーションのプロキシファイルを記録した場合、このプランニングメタデータの <Title> タグの内容で転送先のフォルダーを作成し、このフォルダーの下に転送します。

また、プランニングメタデータファイルのファイル名に、メディアの ID を付加して転送します。

エラー / 警告表示

エラーを検出した場合、ワイヤレス LAN 接続したデバイスの「Device Status」画面上に表示するエラー / 警告表示に、以下が追加になります。

分類	エラー / 警告 ID	内容
通信系	E03-008	Certification Error

本体ソフトウェア (V2.3) とネットワーク機能ソフトウェア (V2.42) で更新される主な機能

ご注意

- 本体ソフトウェアとネットワーク機能ソフトウェアの両方のアップデートが必要になります。アップデートを行う場合は、本体のソフトウェアをアップデートした後で、ネットワーク機能ソフトウェアをアップデートしてください。
- 本体ソフトウェアのアップデートが完了し、「Version Upgrade/OK:Turn Power Off」が表示されたまま放置すると、「E-31001」エラー表示が出ることがありますが、アップデートは完了できていますので、そのまま本体の電源を Off/On してください。
- Content Browser Mobile アプリケーションは、V2.3 以降をお使いください。
- 詳しくは、最新の取扱説明書 (PDF) をご覧ください。最新の取扱説明書 (PDF) は、ソニーのホームページからダウンロードできます。

ファイル保存メニューの追加

- カスタマイズした User メニューの設定項目と設定データを User ファイルとして SxS/USB メモリーへ保存／呼び出しできるようになりました。OTHERS > User Data で選択できます。
- ピクチャープロファイルを USB メモリーへ保存／呼び出しできるようになりました。PICTURE PROFILE SET > PP Data で選択できます。

- ・セットアップファイル / User ファイル / ピクチャープロファイルの保存できるファイル数が 64 個に増えました。
- ・セットアップファイルと User ファイルの保存ファイルに名前を付けることができるようになりました。
 - Camera Data > File ID
 - User Data > File ID

RECENT FILES ステータス画面の追加

読み込みしたファイルの情報を直近から最大 9 個まで適用順にリスト表示するステータス画面を追加しました。
 RECENT FILES ステータス画面では、セットアップファイル / User ファイル / ピクチャープロファイルで各 3 個までの計最大 9 個まで適用順にリスト表示します。
 ステータス画面には、読み込みしたファイルの日時、ファイルの種類、メディアの種類、ファイル名が表示されます。

USER メニューへの File メニューカスタマイズ登録

セットアップファイル / User ファイル / ピクチャープロファイルの保存 / 呼び出しするメニュー項目を USER メニューに登録することができるようになりました。

メニューロック時のアサインブル設定無効化

メニューロック時、USER メニューに登録していない項目がアサインブル機能にアサインしていた場合、設定が無効になります。USER メニュー以外のメニュー設定を変更したくないときに有効です。

ご注意

- ・下表のセットアップメニューのメニュー項目を USER メニューに登録せずにメニューをロックした場合、同機能をアサインブルボタンに設定することはできません。

セットアップメニューのメニュー項目	アサインブルボタンに割り当てることができるメニュー項目
CAMERA SET > Handle Zoom	Handle Zoom
CAMERA SET > Clip Cont.Rec > Setting	Clip Continuous Rec
CAMERA SET > P.Cache Rec > Setting	Picture Cache
CAMERA SET > TLCS > Mode	Spotlight
	Backlight
LCD/VF SET > Zebra > Setting	Zebra
LCD/VF SET > Peaking > Setting	Peaking
LCD/VF SET > Marker > Setting	Marker
LCD/VF SET > EVF > Mode	VF Mode
LCD/VF SET > Display On/Off > Brightness Display	BRT Disp
LCD/VF SET > Display On/Off > Histogram Display	Histogram
LCD/VF SET > Display On/Off > Lens Info	Lens Info
NETWORK SET > NW Client Mode > Setting	NW Client Mode

同機能をアサインブルボタンにアサインしていた場合は、メニューをロックした時点でアサインブルの設定が強制的に Off になります。

- ・ PICTURE PROFILE メニューの SEL を USER メニューに登録せずにメニューをロックした場合、ダイレクトメニュー操作での選択はできません。

ホワイトバランス色温度切り換え機能

- プリセットホワイト色温度の設定が 4 個に増えました。また、あらかじめ色温度を設定しておくことで、アサインブル機能を使用し、設定した 4 個の色温度を切り換えることができます。
- ・ PICTURE PROFILE SET > White > Preset White Sel で 4 個の設定を選択できます。
 - ・ PICTURE PROFILE SET > White > Preset White で、Preset White Sel で選択した番号の色温度を設定できます。
 - ・ Assign Button <1> ~ <5> に WB Preset を設定することで、ホワイトバランス色温度を切り替えることができます。

ご注意

ホワイトバランスがプリセットモード時にのみ有効です。

プロキシー記録フォーマットの追加

プロキシー記録で設定できるフォーマットとして、HD/SD Auto が選択できるようになりました。
 NETWORK SET > Proxy File > Size で選択できます。

ご注意

- ・ HD/SD Auto に設定して、ネットワーククライアントモードに移行した場合、プロキシー記録はできません。NCM with Proxy 設定が有効 (Enable) だったとしても、プロキシー記録は無効です。
- ・ OTHERS メニューの System の Format 設定が 1080/23.98P、かつ VIDEO SET メニューの 23.98P Output の設定が 23.98Psf のときに、NETWORK SET > Proxy File > Size 設定が HD/SD Auto の場合は、プロキシー記録はできません。
- ・ HD/SD Auto を選択した場合、SxS に記録される記録フォーマットの設定や再生するクリップのフォーマットに基づいて設定されます。
- ・ HD/SD Auto で記録したプロキシーファイルは、Web Browser や Content Browser Mobile での再生ができない場合があります。プロキシーファイルを記録した SD カードをコンピューターに直接挿入して再生してください。

ストリーミングフォーマットの追加

- より低ビットレートのフォーマットを選択できるようになりました。
 NETWORK SET > Streaming Edit > Bit Rate で下記のフォーマットが選択できます。
- ・ Size > 480 × 270 のとき
 0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)/0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)
 - ・ Size > 320 × 180 のとき
 0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

ご注意

このときのビデオのフレームレートは 10fps で、オーディオはサンプリング周波数：48 kHz/ ビットレート：56 kbps(Mono) となります。

プロキシー記録の音声チャンネルの設定

プロキシー記録の音声チャンネルをセットアップメニューから設定することができます。
 NETWORK SET > Proxy File > Audio Channel で選択できます。

ストリーミングの音声チャンネルの設定

ストリーミングに重畳する音声チャンネルをセットアップメニューから設定することができます。
NETWORK SET > Streaming > Audio Channel で選択できます。

SxS メディア記録時間の改善

クリップを複数記録した場合の SxS メディアの最長記録時間を改善しました。

本体ソフトウェア（V2.2）とネットワーク機能ソフトウェア（V2.32）で更新される主な機能

ご注意

- 本体ソフトウェアとネットワーク機能ソフトウェアの両方のアップデートが必要になります。アップデートを行う場合は、本体のソフトウェアをアップデートした後で、ネットワーク機能ソフトウェアをアップデートしてください。
- 本体ソフトウェアのアップデートが完了し、「Version Upgrade/OK:Turn Power Off」が表示されたまま放置すると、「E-31001」エラー表示が出ることがありますが、アップデートは完了していますので、そのまま本体の電源を Off/On してください。
- Content Browser Mobile アプリケーションは、V2.2 以降をお使いください。
- 詳しくは、最新の取扱説明書（PDF）をご覧ください。最新の取扱説明書（PDF）は、ソニーのホームページからダウンロードできます。

USER メニューの追加

新たに USER メニューを設け、CAMERA SET、AUDIO SET、VIDEO SET、LCD/VF SET、TC/UB SET、NETWORK SET、OTHERS および PICTURE PROFILE に入っているメニューの中から、ご使用になる頻度の高い任意の項目を USER メニューに登録することができます。登録は USER MENU CUSTOMIZE メニューで行います。

メニューのロック機能の追加

- セットアップメニューの表示にロックをかけて、USER メニューだけの表示にすることができる機能が追加になりました。
- ジョグダイヤルと MENU ボタン同時押しで、セットアップメニューを表示し、User Menu with Lock>On で、暗証番号を入力することで、メニュー表示にロックをかけ、USER メニューだけの表示にできます。
USER メニュー以外のメニュー設定を変更したくないときに有効です。
 - ロックを解除するには、ジョグダイヤルと MENU ボタン同時押しで、セットアップメニューを表示し、User Menu with Lock>Off で、ロックをかけたときの暗証番号を入力することで、全メニューリスト表示に戻ります。

ご注意

暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。

SDXC カードに対応

オリジナルファイルの記録

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02 を使用して、SDXC カードに記録・再生することができます。
SDXC カードは、exFAT モード時のみ使用できます。
SDXC カード（SD スピードクラス：Class10）

ご注意

- 本機で SDXC カードを使用する場合は、本機のフォーマット機能（OTHERS>Format Media>Media(A) または Media(B)）でフォーマットしてから、ご使用ください。
- SDXC カードを使って高速再生を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- SDXC カードと他のメモリーカードを同時に使用しないでください。違う種類のメディアを使用した場合、記録中にメディアがフルになっても自動切り換えができません。
- ご使用になる SDXC カードによっては、XAVC-I での記録や、スロー&クイックモーション撮影が正常に記録できない場合があります。SxS PRO または SxS PRO+ メモリーカードのご使用をお勧めします。
- PMW シリーズおよび PXW シリーズのカムコーダーで記録した SDXC カードは、機種によって本機で記録・再生できない場合があります。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

プロキシファイルの記録

プロキシ記録できるメディアに SDXC カードが追加になりました。
SDXC カード（SD スピードクラス：Class4 以上）

ご注意

- 本機のフォーマット機能（NETWORK SET>Proxy File>Format SD Card）でフォーマットしてから、ご使用ください。
- 本機では SDXC カードを exFAT でフォーマットします。

2 スロット同時記録の対応フォーマットの追加

2 つの SxS スロットを使用した同時記録で、対応するフォーマットが追加になりました。

下記のフォーマットが追加になります。

- OTHERS メニュー System の設定で、exFAT/HD モードの下記フォーマットのとき
-MPEG2 HD422
-MPEG2 HD420HQ
- OTHERS メニュー System の設定で、UDF/HD モードの下記フォーマットのとき
-MPEG2 HD422
-MPEG2 HD420HQ

ご注意

同時記録の際は、同じ種類、同じサイズのメモリーカードを使用してください。

ネットワーククライアントモードにおけるプロキシ記録機能の追加

ネットワーククライアントモードでソニー製ネットワーク RX ステーション PWS-100RX1（別売り）に接続中に、プロキシ記録ができるようになりました。

- ネットワーククライアントモードが有効なときにプロキシ記録するには、下記の設定をしてください。
-CAMERA SET>Proxy>On
-NETWORK SET>NW Client Mode>NCM with Proxy>Enable

ご注意

- ネットワーク RX ステーション PWS-100RX1 で設定可能なストリーミングのビットレートは、プロキシ記録のフォーマットにより、以下のように制限されます。
-プロキシ記録のフォーマットが、1280 × 720 9Mbps/6Mbps の場合：ストリーミングのビットレートは、Very Low の 1Mbps 以下になります。

- プロキシー記録のフォーマットが、640 × 360 3Mbps 以下の
場合：ストリーミングのビットレートは、Low の 3Mbps
以下になります。
- ネットワーククライアントモード時は、プロキシーのフォーマット
変更はできません。変更する場合は、一度ネットワーククラ
イアントモードをオフにしてください。

ネットワーククライアントモードにおけるファイル転送機能の追加

ネットワーククライアントモードでネットワーク RX ステーション PWS-100RX1（別売り）の CCM と接続して、CCM で設定されたサーバーへファイル転送することができます。

ご注意

- ネットワーククライアントモードでストリーミング中にファイル転送はできません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にネットワーククライアントモードのストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。

本機で記録したオリジナルファイルの部分転送

Content Browser Mobile アプリケーションを使用すると、本機で記録したオリジナルファイルにイン点／アウト点を指定し、切り出した部分を転送することができます。また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。

Content Browser Mobile アプリケーションは、最新のバージョンをご使用ください。

- オリジナルファイルの対応フォーマットは、以下になります。
 - exFAT モード：XAVC-I/XAVC-L50、35、25/MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ
 - UDF モード：MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ

ご注意

- Content Browser Mobile を使用してオリジナルファイルを部分転送するには、あらかじめオリジナルファイルと同一ファイル名のプロキシーファイルを以下の設定で記録してください。
 - CAMERA SET>Proxy>On
 - VIDEO SET>Match Clip Name>On
 - ネットワーククライアントモードが有効のときは
NETWORK SET>NW Client Mode>NCM with
Proxy>Enable
- オリジナルファイルの部分転送中は、以下の操作ができません。
 - クリップ操作
 - メディアのフォーマット
 - コンピューターとの USB 接続
- オリジナルファイルの部分転送中は、ピクチャーキャッシュレックのピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間が
CAMERA SET>P.Cache Rec>Rec Time で設定した時間より短
くなります。

Wi-Fi リモコン設定のステータス表示の追加

ボタン / リモートステータス画面に本機の Web メニューや Wi-Fi リモコンへのアクセスを有効・無効設定する Network Remote メニューの設定表示が追加になりました。

本体ソフトウェア（V2.1）とネットワーク機能ソフトウェア（V2.12 / V2.15）で更新される主な機能

ご注意

- 本体ソフトウェアとネットワーク機能ソフトウェアの両方の
アップデートが必要になります。アップデートを行う場合は、
本体のソフトウェアをアップデートした後で、ネットワーク機
能ソフトウェアをアップデートしてください。
- Content Browser Mobile アプリケーションは、V2.0 以降をお
使いください。

5GHz 対応のワイヤレス LAN モジュール CBK-WA02（別売り）に対応

新ワイヤレス LAN モジュール装着時、NETWORK SET>Channel
に Auto(5GHz) が追加されます。また、NETWORK
SET>Network Mode でワイヤレス LAN の動作モードを Station
に設定した場合は、5GHz 対応のアクセスポイントと接続できま
す。

ご注意

Auto (5GHz) は、ご使用になるワイヤレス LAN モジュールによ
り、表示されない場合があります。

5GHz 帯の屋外使用が禁止されている国／地域向けの場合、表示
されません。ワイヤレス LAN モジュールが、ご使用になる国／
地域に対応しているかご確認ください。詳しくは、ワイヤレス
LAN モジュールの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレス LAN モジュール（CBK-WA02（別売））の取り付け方法

1. 外部機器接続端子のカバーを開ける。
2. ワイヤレス LAN モジュール（CBK-WA02（別売り））に付属し
ている通信モジュール延長アダプター（CBK-NA1E）を本機に
取り付ける。
凸端子を本機の外部機器接続端子に接続し、凹端子にワイヤレ
ス LAN モジュールを取り付けます。本機のアクセサリシュー
取り付け部のねじ穴（1/4 インチ）を使って固定できます。
3. ワイヤレス LAN モジュールを通信モジュール延長アダプター
に装着する。

ご注意

ワイヤレス LAN モジュールの取り付け / 取り外しは、本機の電
源を切った状態で行ってください。

V2.0 で更新される主な機能

ご注意

- 本体ソフトウェアとネットワーク機能ソフトウェアの両方の
アップデートが必要になります。アップデートを行う場合は、
本体のソフトウェアをアップデートした後で、ネットワーク機
能ソフトウェアをアップデートしてください。
- 本体ソフトウェアのアップデートが完了し、「Version
Upgrade/OK:Turn Power Off」が表示されたまま放置すると、
「E-31001」エラー表示が出ることがありますが、アップデート
は完了できていますので、そのまま本体の電源を Off/On して
ください。
- 追加機能の操作方法などについて、詳しくは、「追加機能につい
て」(PDF)をご覧ください。「追加機能について」はソニーのホー
ムページからダウンロードできます。

ソニーの QoS 技術による高品質ストリーミング伝送機能の追加
新たにネットワーククライアントモードを設け、ソニー製ネット
ワーク RX ステーション PWS-100RX1（別売り）と合わせて使
用することで、LTE/4G 回線網を利用した、ソニーの QoS 技術に
よる高品質ストリーミング伝送に対応しました。

- NETWORK SET > NW Client Mode > CCM Address、CCM Port、User Name、Password で接続設定ができます。
- NETWORK SET > NW Client Mode > Setting でネットワーククライアントモードのオン / オフを切り替えます。
- ネットワーククライアントモード時は PWS-100RX1 からストリーミングに関する設定や制御が行われます。
- カムコーダーに内蔵の Web メニューの Device Status 画面で、ネットワーククライアントモードの状態確認ができます。

ご注意

- ネットワーククライアントモードに移行すると、ストリーミング、モニタリング、プロキシー記録およびファイル転送はできません。
- モニタリング中、プロキシー記録中またはファイル転送中にネットワーククライアントモードに移行すると、これらの動作は停止します。

測位情報の取得（GPS）について

プロキシーデータに GPS で測位した情報を記録できるようになりました。

プロキシーデータの静止画記録

プロキシー記録をするとプロキシーデータの先頭フレームの静止画も同時に記録されます。

プロキシーデータのサムネイル表示

先頭フレームの静止画ファイルを使用し、プロキシーデータのサムネイルをすばやく表示することができます。

プロキシーデータの部分転送をする

Content Browser Mobile アプリケーションの V2.0 以降を使用すると、プロキシーデータからイン点 / アウト点を指定して切り出した部分を転送することができます。

ご注意

- 生成されるファイルには、切り出し位置の前後に最大 15 フレームのマージンが付加されます。
- ネットワーク機能ソフトウェア (V1.32) 以前で記録したプロキシーデータから切り出した場合には、ノンリニア編集機に取り込めない場合があります。

本線記録にエッセンスマークを付加する

Content Browser Mobile アプリケーションの V2.0 以降を使用すると、本機の記録中にエッセンスマークを付加することができます。プロキシーデータにも反映します。このエッセンスマーク情報を使って、ファイルの切り出し位置を簡単に設定することができます。

ご注意

- 本機に記録されるオリジナルファイルの情報を継承した同一デュレーションのプロキシーデータの場合にのみ有効です。
- オリジナルファイルが分割された場合は、プロキシーデータには反映されません。

ストリーミングフォーマットとプロキシーフォーマット設定について

V1.2（本体ソフトウェア）ではプロキシーフォーマット設定の Bit Rate を 9Mbps に設定している場合、ストリーミング設定の Bit Rate を 6Mbps 以上に設定することはできませんでしたが、V2.0（本体ソフトウェア）からは設定が可能になりました。Bit Rate が 6Mbps 以上に設定されているプリセットを選択しても、ストリーミングの Bit Rate は自動的に 3Mbps に変更されることはありません。

Content Browser Mobile のモニタリングについて

ご使用時の電波環境およびモバイル端末によっては、モニタリング映像が停止する場合があります。

モニタリングのフォーマット変更

モニタリングのフォーマットから、「Size」の「640 × 360 (3Mbps)」を削除しました。この設定でお使いの方は、「Size」が「480 × 270 (1Mbps)」となります。

ワイヤレス LAN のチャンネルの変更

ワイヤレス LAN のチャンネル設定の一部が変更されました (NETWORK SET > Channel)。

マルチインターフェースシューに装着したワイヤレスマイクロホンへの給電

従来は、ネットワーク機能を使用している際にマルチインターフェースシューへ電源供給できませんでしたが、バージョンアップにより、カムコーダーがバッテリーにより駆動している場合はマルチインターフェースシューへの電源供給が可能になり、ネットワーク機能使用時にワイヤレスマイクロホン UWP-D11/D12 を装着して使用することができます。

その他メニューの変更

<LCD/VF SET メニュー>

- [Display On/Off] に [NW Client Status] を追加
NW Client Mode での CCM との接続の状態表示を On/Off する

<NETWORK SET メニュー>

- [Proxy File]>[Bit Rate] に [6Mbps] を追加
- [Wi-Fi Remote] を [Network Remote] にメニュー名変更
メニュー名変更とともに、NETWORK SET メニューの [Network Mode] が [Wired LAN] のときに本機の Web メニューや Wi-Fi リモコンへのアクセスが可能になりました。

<OTHERS メニュー>

- [Assign Button]>[<1>] ~ [<5>] に [NW Client Mode] を追加
アサインボタンにアサインできる機能に [NW Client Mode] が追加になりました。

V1.2 で更新される主な機能

ご注意

ネットワーク機能の拡張に伴い、メニューの階層や項目名が変更されています。詳しくは、最新の取扱説明書（PDF）をご覧ください。

2 スロット同時記録

2 つの SxS スロットを使用した同時記録に対応しました。

- CAMERA SET > Simul Rec で機能の On/Off を切り替えられます。

ご注意

- 同時記録機能は exFAT/HD モード時の下記のフォーマットでのみ使用できます。
XAVC-I
XAVC-L50
XAVC-L35
XAVC-L25
- 同時記録の際は、同じ種類、同じサイズのメモリーカードを使用してください。

- ・同時記録機能は、下記の機能と同時に使用することはできません。
 フレームレック
 クリップコンティニユアスレック
 ピクチャーキャッシュレック
 スロー&クイックモーション
 インターバルレック
 プロキシ記録
 ネットワーク接続 (NETWORK SET > NW&Proxy/USB で Network&Proxy に設定しているとき)
 ストリーミング

ストリーミング機能

カムコーダーのライブ映像を、インターネットやローカルネットワークを通じてストリーミング伝送する機能を追加しました。

- ・NETWORK SET > Streaming > Setting で機能の On/Off の切り替え、Preset Select でプリセットの選択ができます。
- ・NETWORK SET > Streaming Edit でプリセットの編集などができます。

ご注意

プロキシフォーマット設定の Bit Rate を 9Mbps 設定している場合。

- ・ストリーミング設定の Bit Rate を 6Mbps 以上に設定することはできません。
- ・Bit Rate が 6Mbps 以上に設定されているプリセットを選択すると、ストリーミングの Bit Rate は自動的に 3Mbps に変更されます。

LTE モデム・有線 LAN 対応

外部機器接続端子に、ネットワークモジュール延長アダプター（別売り、CBK-NA1 に付属）と 3G/4G/LTE モデム（別売り）を取り付け、ネットワークに接続できるようになりました。また、USB-RJ45 アダプター（別売り、CBK-NA1 に付属）に対応し、ネットワークケーブルを使ってネットワークに接続できるようになりました。

- ・NETWORK SET > Network Mode で Modem を選択すると、3G/4G/LTE モデムを使用できます。
- ・NETWORK SET > Wired LAN Set で有線 LAN の設定ができます。

ご注意

- ・本機に対応しているモデムについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。
- ・ストリーミングの Bit Rate を 9Mbps または 6Mbps に設定する場合は、あらかじめプロキシフォーマット設定の Bit Rate は 9Mbps 以外に設定してください。

GPS 機能

内蔵の GPS モジュールを有効にすることができるようになりました。

- ・OTHERS > GPS で機能の On/Off を切り替えられます。

マルチインターフェースシュース対応

前部アクセサリースューでマルチインターフェースシュース対応アクセサリーが使用できるようになりました。

- ・マルチインターフェースシュース対応マイクを使用するときは、AUDIO SET > Audio Input の CH1 EXT Input と CH2 EXT Input を SHOE MIC に設定します。
- ・マルチインターフェースシュース対応ビデオライトを使用するときに、CAMERA SET>Video light Set で本機と連動したライト点灯 / 消灯の制御方法が選択できます。

ご注意

マルチインターフェースシュース対応アクセサリーについて詳しくは販売店にお問い合わせください。

3G SDI Level A 対応

3G-SDI Level B に加え、Level A の出力にも対応しました。

- ・VIDEO SET>3G SDI OUT Level A/B で Level A または Level B の選択ができます。

English

Release Note

Major functions updated with the camcorder software (V2.5) and the network function software (V3.12)

Access point setting for the Station mode

You can connect to the desired access point from the setup menu.

The connection setting can be set in "NETWORK SET" > "Station Set."

Note

To set the connection setting in "NETWORK SET" > "Station Set", select "Station" in "NETWORK SET" > "Network Mode."

Multiple settings for the access point in network client mode

Up to three access point settings can be set for network client mode.

- ・Selecting a preset is available in "NETWORK SET" > "NW Client Mode" > "Preset Select."
- ・Editing a preset is available in "NETWORK SET" > "NW Client Edit."

On/Off function of proxy recording

On/Off function of proxy recording is added in the assignable function.

You can switch the On/Off function of the proxy recording by pressing the assignable button assigned with Proxy.

Note

To enable the function, set to "Network&Proxy" in "NETWORK SET" > "NW&Proxy/USB."

Automated transfer of proxy file

A function is added to automatically transfer the proxy file to the default server set in "Upload Settings" when proxy recording is ended while connected to the internet.

You can set the function in "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Auto Upload."

Note

Set the server to be transferred in Web menu or "Upload Settings" of the "Content Browser Mobile" application in advance.

Major functions updated with the camcorder software (V2.4) and the network function software (V3.02)

Compatible with XDCAM air

XDCAM air is a cloud service that is provided by Sony.

To use this service, registration is required.

XDCAM air is not provided in some regions. For details on areas where the service is provided, refer to the following site.

<https://www.xdcam-air.com>

For more details, contact Sony professional sales representative.

You can transfer files with the high quality streaming transmission function when connecting to the Connection Control Manager (CCM) of XDCAM air.

- Enter the URL of XDCAM air in "NETWORK SET" > "NW Client Mode" > "CCM Address."
The network client mode is enabled and the camcorder is connected to XDCAM air.
- After completing the connection, the transmission of live video is started by operating XDCAM air.
For more details, refer to the online help of XDCAM air.

Note

When you input "User Name" and "Password," yen sign (¥) is displayed instead of a backslash (\) on this camcorder.

Adding the item in the setting menu

"OSS Information" is added in the setting menu that is displayed by touching  on the upper left of the web menu screen.

Note

"OSS Information" is moved from "Device Status."

Starting file transfer automatically after recording

When "Auto upload" is set to "On" in the Web menu, the file that is stored in an SD card is automatically transferred after recording. When the camcorder records the proxy file that inherits the information and recording duration from the original based on the planning metadata, a folder is created based on the information of the <Title> tag in the planning metadata, and the file is transferred into this folder. Also, the planning metadata file is transferred after the ID of the media is added to the file name.

Adding an error message to Error/Warning indicator

The following is added as the error message that appears on the "Device Status" screen of the device that is connected via wireless LAN if the camcorder detects an error.

Type	Error/warning ID	Description
Communication	E03-008	Certification Error

Major functions updated with the camcorder software (V2.3) and the network function software (V2.42)

Notes

- You are required to update the camcorder software and the network function software. Update the camcorder software first, then update the network function software.
- When the camcorder software update is complete, "Version Upgrade/OK: Turn Power Off" appears. If you leave it as it is, the error message "E-31001" may appear. Since the update is complete, just turn the camcorder off and on.
- Use the Content Browser Mobile application V2.3 or later.
- For details, refer to the latest operating instructions (PDF file). You can download the latest operating instructions (PDF file) from the Sony web site.

Adding the menus for file storing

- The setting items and setting data can be stored on or recalled from an SxS/USB memory as a User file. These functions can be operated in "OTHERS" > "User Data."
- The picture profile can be stored on or recalled from a USB flash drive. These functions can be operated in "PICTURE PROFILE SET" > "PP Data."
- Up to 64 Setup files, User files, and picture profiles can be stored.

- The stored setup file and User file can be named.
 - "Camera Data" > "File ID"
 - "User Data" > "File ID"

Adding the RECENT FILES Status Screen

The status screen displays file information (up to 9) that was recently loaded on the list in the loaded order.

In the RECENT FILES status screen, you can display on the list up to 9 files of file information (up to 3 each for setup file, User file, or picture profile).

The date and time which the file is loaded, file type, media type, and file name are displayed.

Registering the file customizing menu to the USER menu

The menu items for storing or recalling a setup file, User file, or picture profile can be registered to the USER menu.

Disabled the assignable setting while the menu is locked

If a menu item that is not registered on the USER menu is assigned to the assignable function while the menu is locked, the assignable setting is disabled.

This function is useful when you do not want to change a menu setting other than the USER menu.

Notes

- If the menu is locked while the menu items of the setup menu listed below are not registered to the USER menu, the function of the menu item cannot be assigned to the assignable buttons.

Menu items of the setup menu	Menu items that can be assigned to the assignable buttons
CAMERA SET > Handle Zoom	Handle Zoom
CAMERA SET > Clip Cont.Rec > Setting	Clip Continuous Rec
CAMERA SET > P.Cache Rec > Setting	Picture Cache
CAMERA SET > TLCS > Mode	Spotlight Backlight
LCD/VF SET > Zebra > Setting	Zebra
LCD/VF SET > Peaking > Setting	Peaking
LCD/VF SET > Marker > Setting	Marker
LCD/VF SET > EVF > Mode	VF Mode
LCD/VF SET > Display On/Off > Brightness Display	BRT Disp
LCD/VF SET > Display On/Off > Histogram Display	Histogram
LCD/VF SET > Display On/Off > Lens Info	Lens Info
NETWORK SET > NW Client Mode > Setting	NW Client Mode

If the functions listed above are assigned to the assignable buttons, the assignable settings are set to off automatically when the menu is locked.

- If the menu is locked while "SEL" of the PICTURE PROFILE menu is not registered to the USER menu, the selection with the direct menu operation is disabled.

Switching function for the color temperature of the white balance

The number of the color temperature setting items for preset white increases to 4. You can switch the settings between 4 color temperature settings with the assignable function by setting the color temperature in advance.

- You can select the color temperature setting between 4 settings in "PICTURE PROFILE SET" > "White" > "Preset White Sel."
- You can set the color temperature of the color temperature setting that is selected in "Preset White Sel."
- You can switch the color temperature with the assignable button by setting "WB Preset" to "Assign Button" <1> to <5>.

Note

This function is available when the white balance is in the preset mode.

Adding the proxy recording format

"HD/SD Auto" can be selected for the proxy recording format. You can select in "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Size."

Notes

- When the camcorder is in the network client mode while selecting "HD/SD Auto," the proxy recording is disabled. Even if "NCM with Proxy" is set to "Enable," the proxy recording is disabled.
- When "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Size" is set to "HD/SD Auto" while "OTHERS" > "System" > "Format" is set to "1080/23.98P" and "VIDEO SET" > "23.98P Output" is set to "23.98PsF," the proxy recording is disabled.
- When you select "HD/SD Auto," the size is set according to the setting of the recording format recorded in the SxS memory card or format of the clip to be played back.
- The proxy file recorded with "HD/SD Auto" may not be played back with the Web browser and Content Browser Mobile. Insert the SD card with the proxy file recorded to the computer directly to play back.

Adding the streaming format

The format of lower bit rate can be selected.

You can select in "NETWORK SET" > "Streaming Edit" > "Bit Rate."

- For "Size" > 480 × 270:
0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)/0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)
- For "Size" > 320 × 180:
0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

Note

In this case, the video framerate is 10fps, and the audio sampling frequency is 48 kHz and Audio bitrate is 56 kbps for Mono.

Audio channel setting for the proxy recording

The audio channel for the proxy recording can be set on the setup menu.

You can select in "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Audio Channel."

Audio channel setting for streaming

The audio channel for streaming can be set on the setup menu.

You can select in "NETWORK SET" > "Streaming" > "Audio Channel."

Recording time of an SxS media is improved

The maximum recording time of an SxS media for recording multiple clips is improved.

Major functions updated with the camcorder software (V2.2) and the network function software (V2.32)

Notes

- You are required to update the camcorder software and the network function software. Update the camcorder software first, then update the network function software.
- When the camcorder software update is complete, "Version Upgrade/OK: Turn Power Off" appears. If you leave it as it is, the

error message "E-31001" may appear. Since the update is complete, just turn the camcorder off and on.

- Use the Content Browser Mobile application V2.2 or later.
- For details, refer to the latest operating instructions (PDF file). You can download the latest operating instructions (PDF file) from the Sony web site.

Adding the USER menu

USER menu is newly added and you can register frequently-used items under CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, LCD/VF SET, TC/UB SET, NETWORK SET, OTHERS, or PICTURE PROFILE menus to the USER menu. Registration can be done at the USER MENU CUSTOMIZE menu.

Adding the locking menu function

Function to lock the Setup menu and to only display USER menu is added.

- Press the jog dial and MENU button at the same time to display the Setup menu and enter the password at User Menu with Lock>On to lock the menu display and only to display the USER menu.

This function is useful when you do not want to change menu settings other than those in the USER menu.

- To release the lock and to display all the menu lists again, press the jog dial and MENU button at the same time to display the Setup menu, then enter the same password entered at User Menu with Lock>Off.

Note

Keeping your password is recommended for future reference. If you forget your password, contact a Sony service representative.

Supports the SDXC card

Recording the original file

By using an optional MEAD-SD02 Media Adaptor, you can record and play an SDXC card.

SDXC card can only be used when in exFAT mode.

SDXC card (SD Speed Class: 10)

Notes

- When you use the SDXC card with this unit, format it using the unit's formatting function (OTHERS>Format Media>Media(A) or Media(B)).
- High-speed playback may not be properly achieved with an SDXC card.
- When you use an SDXC card, do not use other types of memory cards simultaneously. If you use other types of media simultaneously, switching to other media cannot be executed when the media has no space while recording.
- Recording with XAVC-I format or the Slow & Quick Motion recording may not be performed correctly depending on the SDXC card used. An SxS PRO or SxS PRO+ memory card is recommended.
- An SDXC card recorded with the camcorder of the PMW and PXW series may not be able to be used for recording and playback with this unit depending on the type of unit used. For details, contact your Sony dealer or a Sony service representative.

Recording the proxy file

An SDXC card is added to the media which can record proxy.

SDXC card (SD Speed Class: Higher than 4)

Notes

- When you use the SDXC card with this unit, format it using the unit's formatting function (NETWORK SET>Proxy File>Format SD Card).
- This camcorder formats the SDXC card as exFAT.

Adding the format to support 2 slot simultaneous recording

Format which supports simultaneous recording using 2 SxS slots is added.

The following formats are added:

- When any of the following formats for the exFAT/HD mode is set in "System" of the OTHERS menu
 - MPEG2 HD422
 - MPEG2 HD420HQ
- When any of the following formats for the UDF/HD mode is set in "System" of the OTHERS menu
 - MPEG2 HD422
 - MPEG2 HD420HQ

Note

When using Simultaneous Recording in the 2 slots, use memory cards with the same type and size.

Adding the proxy recording function in network client mode

Proxy recording function in network client mode is added when Sony network RX station PWS-100RX1 (optional) is connected.

- To record proxy when network client mode is enabled, set the following settings.
 - CAMERA SET>Proxy>On
 - NETWORK SET>NW Client Mode>NCM with Proxy>Enable

Notes

- The streaming bit rate that can be set on the Network RX Station PWS-100RX1 is limited depending on the proxy recording format.
 - When the proxy recording format is 1280 × 720 9Mbps/6Mbps: The streaming bit rate is 1Mbps or less of Very Low.
 - When the proxy recording format is 640 × 360 3Mbps or less: The streaming bit rate is 3Mbps or less of Low.
- The proxy format cannot be changed while in the network client mode. To change the proxy format, turn the network client mode off.

Adding the file transferring function in network client mode

You can transfer the file to the server set on CCM by connecting the unit to the CCM of Network RX Station PWS-100RX1 (optional) in network client mode.

Notes

- File transferring cannot be performed while streaming by network client mode.
- File transferring stops if you start streaming in network client mode while transferring. File transferring restarts if you stop streaming.

Partial transfer of an original file recorded on this unit

When you use the "Content Browser Mobile" application, you can transfer a cutout part of a file by specifying In and Out points in the original file recorded by this unit.

You can also transfer the cutout parts of multiple files using the Storyboard.

Use the latest version of the "Content Browser Mobile" application.

- Compatible formats for the original file are as follows:
 - exFAT Mode: XAVC-I/XAVC-L50, 35, 25/MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ
 - UDF Mode: MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ

Notes

- To transfer the original file partially using the "Content Browser Mobile," record the proxy file with the same file name as the original file with the following settings.
 - Set "Proxy" of the CAMERA SET menu to "On."
 - Set "Match Clip Name" of the VIDEO SET menu to "On."
 - Set "NCM with Proxy" in "NW Client Mode" of the NETWORK SET menu to "Enable" when the network client mode is activated.
- While transferring the original file partially, the following operations cannot be done.
 - Clip operation
 - Formatting media
 - Connecting to the PC via USB
- While transferring the original file partially, the time for storing the images to the picture cache memory of the Picture Cache Recording will be less than the time set by "Rec Time" in "P.Cache Rec" of the CAMERA SET menu.

Adding the status display of Wi-Fi remote control setting

Setting display of the Network Remote control menu which activates/deactivates access to the Wi-Fi remote control and Web menu of this camcorder on Button/Remote status screen is added.

Major functions updated with the camcorder software (V2.1) and the network function software (V2.12 / V2.15)

Notes

- You are required to update the camcorder software and the network function software. Update the camcorder software first, then update the network function software.
- Use the Content Browser Mobile application V2.0 or later.

CBK-WA02 5GHz compatible wireless LAN module (sold separately)

When the new wireless LAN module is installed, "Auto (5GHz)" is added in "NETWORK SET">"Channel." When the wireless LAN's operation mode is set to "Station" in "NETWORK SET">"Network Mode," you can access the 5GHz compatible access points.

Note

"Auto (5GHz)" may not be displayed depending on the wireless LAN module used.

Not displayed if the module is for the country/region where outdoor use in the 5GHz band is prohibited. Make sure that the wireless LAN module is supported in the country/region of use. For details, refer to the operating instructions of the wireless LAN module.

Attaching method of the wireless LAN module (CBK-WA02 (sold separately))

1. Open the cover of the external device connector.
2. Attach the network module extension adapter (CBK-NA1E) supplied with the wireless LAN module CBK-WA02 (sold separately) to the camcorder.
Connect the convex terminal to the external device connector on the camcorder and connect the wireless LAN module to the concave terminal. You can attach the adaptor to the screw hole (1/4 in.) of the accessory shoe mount.
3. Attach the wireless LAN module to the network module extension adapter.

Note

Attach/remove the wireless LAN module while the camcorder is turned off.

Major functions updated with V2.0

Notes

- You are required to update the camcorder software and the network function software. Update the camcorder software first, then update the network function software.
- When the camcorder software update is complete, "Version Upgrade/OK: Turn Power Off" appears. If you leave it as it is, the error message "E-31001" may appear. Since the update is complete, just turn the camcorder off and on.
- For details of the operation methods concerning additional functions, refer to "About Additional Functions" (PDF file). You can download "About Additional Functions" from the Sony web site.

Addition of the function for high-quality streaming by Sony QoS technology

By providing the newly prepared network client mode, when used with the Sony network RX station PWS-100RX1 (sold separately), high-quality streaming is supported by Sony QoS technology via the LTE/4G network.

- The connection setting can be set in "NW Client Mode" > "CCM Address," "CCM Port," "User Name," "Password" of the NETWORK SET menu.
- The network client mode can be turned on/off in "NW Client Mode" > "Setting" in the NETWORK SET menu.
- When the network client mode is selected, the setting and control related to streaming are performed via PWS-100RX1.
- In the Device Status screen of the camcorder's built-in Web menu, you can confirm the status of the network client mode.

Notes

- When switched to the network client mode, streaming, monitoring, proxy recording, or file transferring cannot be performed.
- When switched to the network client mode during monitoring, proxy recording, or file transferring, these operations stop.

About acquiring the positioning information (GPS)

You can record the positioned information to the proxy data via GPS.

Recording of the proxy data's still images

When proxy recording is performed, the still image of proxy data's first frame is recorded simultaneously.

Displaying the proxy data's thumbnails

You can display the proxy data's thumbnails quickly using the first frame's still image.

Transferring the proxy data partially

When you use the Content Browser Mobile application V2.0 or later, you can transfer the clipped partial data by specifying the in-point and out-point from the proxy data.

Notes

- The maximum 15-frame margin is attached in front and behind the clipped point in a generated file.
- When you clip the proxy data recorded with network function software V1.32 or earlier, the data may not be taken to the non-linear editor.

Attaching the essence marks to the recorded data of this unit

When you use the Content Browser Mobile application V2.0 or later, you can attach the essence marks while recording to this unit. They are also applied to the proxy data. You can set the clip position of a file simply using this essence mark information.

Notes

- This is only enabled for the same recording duration proxy file which succeeds the original file information recorded to this unit.
- When the original file is divided, the essence marks are not applied to the proxy data.

About setting the streaming format and proxy format

When "Bit Rate" of the proxy format setting is set to "9Mbps" in V1.2 (camcorder software), "Bit Rate" of the streaming setting cannot be set to more than "6Mbps." However, the setting can be done in V2.0 (camcorder software). If you select the preset whose "Bit Rate" is set to more than "6Mbps," "Bit Rate" of the streaming is not changed to "3Mbps" automatically.

About the monitoring of Content Browser Mobile

The monitoring video image may stop due to signal conditions when used on mobile devices.

Changed format for monitoring

"640x360 (3Mbps)" for "Size" is deleted from the monitoring format. If you use this setting, "Size" is set to "480x270 (1Mbps)."

Changing the wireless LAN channel

The wireless LAN channel setting is changed partially ("Channel" in the NETWORK SET menu).

Power supply to the wireless microphone installed on the multi-interface shoe

Originally, power to the multi-interface shoe could not be supplied while the network function was used. Due to this version up, the power to the multi-interface shoe can be supplied when the camcorder is driven by the battery. Therefore, you can use the wireless microphone UWP-D11/D12 when the network function is used.

Change of other menus

<LCD/VF SET menu>

- "NW Client Status" is added to "Display On/Off." The status display of the connection to the CCM turns on /off in "NW Client Mode".

<NETWORK SET menu>

- Adding "6Mbps" in "Proxy File" > "Bit Rate"
- The menu name "Wi-Fi Remote" is changed to "Network Remote."

In changing the menu name, when "Wired LAN" is set in "Network Mode" of the NETWORK SET menu, access to the Web menu of the unit and Wi-Fi remote commander can be performed.

<OTHERS menu>

- "NW Client Mode" is added to "Assign Button" > "<1>" to "<5>." You can also assign the "NW Client Mode" function to the assignable button.

Major functions updated with V1.2

Note

Network functions are extended, so menu layers and item names are changed. For details, refer to the latest manual (PDF).

Simultaneous Recording in 2 slots

Simultaneous recording using 2 SxS slots is supported.

- The function can be turned on/off in > "Simul Rec" in the CAMERA SET menu.

Notes

- Simultaneous Recording can be used only with the following formats while in exFAT/HD mode.
XAVC-I
XAVC-L50
XAVC-L35
XAVC-L25
- When using Simultaneous Recording, use memory cards with the same type and size.
- Simultaneous Recording cannot be used with the following functions simultaneously:
Frame Recording
Clip Continuous Recording
Picture Cache Recording
Slow & Quick Motion
Interval Recording
Proxy recording
Network connections (when "Network&Proxy" is set in "NW&Proxy/USB" of the NETWORK SET menu.)
Streaming

Streaming function

The function for streaming a live video of the camcorder via the Internet or a local network is added.

- The function can be turned on/off in "Streaming" > "Setting" of the NETWORK SET menu, and a preset can be selected in "Preset Select."
- Preset editing etc. is available in "Streaming Edit" of the NETWORK SET menu

Notes

When "Bit Rate" for the Proxy recording format is set to "9Mbps."

- "Bit Rate" for the streaming setting cannot be set to "6Mbps" or more.
- If you select a preset with "Bit Rate" that is set to "6Mbps" or more, "Bit Rate" for streaming automatically changes to "3Mbps."

Compatible with LTE modem/Wired LAN

Network connection is available by attaching the network module extension adaptor supplied with the optional network adaptor kit CBK-NA1 and the optional 3G/4G/LTE modem to the external device connector. Also, a USB-RJ45 adaptor supplied with the optional network adaptor kit CBK-NA1 is supported so that the network connection is available using a network cable.

- A 3G/4G/LTE modem can be used by selecting "Modem" in "Network Mode" of the NETWORK SET menu.
- A wired LAN can be set in "Wired LAN Set" of the NETWORK SET menu.

Notes

- For compatible modems, contact your Sony dealer or a Sony service representative.
- When "Bit Rate" for streaming is set to "9Mbps" or "6Mbps," set "Bit Rate" for the Proxy recording format to options other than "9Mbps" in advance.

GPS function

The built-in GPS module can be enabled.

The function can be turned on/off in "GPS" of the OTHERS menu

Compatible with Multi Interface Shoe

An accessory compatible with the Multi Interface Shoe can be used with the accessory shoe on the front

- A microphone compatible with the Multi Interface Shoe can be used by setting "CH1 EXT Input" and "CH2 EXT Input" to "SHOE MIC" in "Audio Input" of the AUDIO SET menu.

- When using the video light compatible with the Multi Interface Shoe, you can select the control method for turning the light on/off operating linked with the camcorder in "Video Light Set" of the CAMERA SET menu.

Note

For accessories compatible with the Multi Interface Shoe, contact your dealer.

Compatible with 3G-SDI Level A

The 3G-SDI Level A output is available in addition to that of Level B

- "Level A" or "Level B" can be selected in "3G SDI OUT Level A/B" of the VIDEO SET menu.

Français

Note de publication

Principales fonctions mises à jour dans le logiciel du caméscope (V2.5) et le logiciel de la fonction réseau (V3.12)

Configuration du point d'accès pour le mode Station

Vous pouvez vous connecter au point d'accès voulu à l'aide du menu Configuration.

Le paramètre de connexion peut être défini sous « NETWORK SET » > « Station Set ».

Remarque

Pour définir le paramètre de connexion sous « NETWORK SET » > « Station Set », sélectionnez « Station » sous « NETWORK SET » > « Network Mode ».

Plusieurs configurations pour le point d'accès en mode client réseau

Jusqu'à trois configurations de point d'accès peuvent être définies en mode client réseau.

- Il est possible de sélectionner un préréglage sous « NETWORK SET » > « NW Client Mode » > « Preset Select ».
- Il est possible de modifier un préréglage sous « NETWORK SET » > « NW Client Edit ».

Activation/désactivation de l'enregistrement du proxy

La fonction d'activation/de désactivation de l'enregistrement du proxy est ajoutée à la fonction attribuable.

Vous pouvez activer/désactiver la fonction d'enregistrement du proxy en appuyant sur le bouton assignable attribué au proxy.

Remarque

Pour activer la fonction, définissez « Network&Proxy » sous « NETWORK SET » > « NW&Proxy/USB ».

Transfert automatique du fichier proxy

Une fonction est automatiquement ajoutée pour transférer le fichier proxy vers le serveur par défaut défini sous « Upload Settings » lorsque l'enregistrement du proxy est terminé et que vous êtes connecté à Internet.

Vous pouvez définir la fonction sous « NETWORK SET » > « Proxy File » > « Auto Upload ».

Remarque

Définissez au préalable le serveur vers lequel s'effectue le transfert dans le menu Web ou sous « Upload Settings » de l'application « Content Browser Mobile ».

Principales fonctions mises à jour avec le logiciel du caméscope (V2.4) et le logiciel de fonction réseau (V3.02)

Compatible avec XDCAM air

XDCAM air est un service en nuage fourni par Sony. Une inscription est requise pour utiliser ce service. XDCAM air n'est pas fourni dans certaines régions. Pour plus de détails sur les zones dans lesquelles le service est fourni, rendez-vous sur le site suivant.
<https://www.xdcam-air.com>
Pour plus de détails, contactez votre représentant commercial professionnel Sony.

Vous pouvez transférer des fichiers avec la fonction de transmission par diffusion continue de haute qualité lors de la connexion au Connection Control Manager (CCM) de XDCAM air.

- Saisissez l'URL de XDCAM air sous « NETWORK SET » > « NW Client Mode » > « CCM Address ».
Le mode client réseau est activé et le caméscope est connecté à XDCAM air.
- Une fois la connexion établie, la transmission de la vidéo en direct démarre avec l'activation de XDCAM air.
Pour plus de détails, consultez l'aide en ligne de XDCAM air.

Remarque

Lorsque vous saisissez « User Name » et « Password », le symbole du yen (¥) s'affiche à la place de la barre oblique inversée (\) sur ce caméscope.

Ajout de l'élément dans le menu de réglage

« OSS Information » est ajouté dans le menu de réglage qui s'affiche lorsque vous touchez  en haut à gauche de l'écran du menu Web.

Remarque

« OSS Information » est déplacé depuis « Device Status ».

Démarrage automatique du transfert de fichiers après l'enregistrement

Lorsque « Auto upload » est réglé sur « On » dans le menu Web, le fichier stocké sur une carte SD est automatiquement transféré après l'enregistrement. Lorsque le caméscope enregistre le fichier proxy qui hérite des informations et de la durée d'enregistrement de l'original sur la base des métadonnées de planification, un dossier est créé sur la base des informations du tag <Title> dans les métadonnées de planification, et le fichier est transféré dans ce dossier.

En outre, le fichier de métadonnées de planification est transféré après l'ajout de l'ID du support au nom de fichier.

Ajout d'un message d'erreur à Indicateur d'erreur/d'avertissement

Ce qui suit est ajouté en tant que message d'erreur apparaissant sur l'écran « Device Status » du périphérique connecté via un réseau local sans fil si le caméscope détecte une erreur.

Type	ID de l'erreur/ avertissement	Description
Communication	E03-008	Erreur de certification

Principales fonctions mises à jour avec le logiciel du caméscope (V2.3) et le logiciel de fonction réseau (V2.42)

Remarques

- Vous devez mettre à jour le logiciel du caméscope ainsi que le logiciel de fonction réseau. Vous devez d'abord mettre à jour le logiciel du caméscope puis le logiciel de fonction réseau.

- Une fois la mise à jour du logiciel du caméscope terminée, « Version Upgrade/OK: Turn Power Off » s'affiche. Si vous ne faites rien, le message d'erreur « E-31001 » risque d'apparaître. Étant donné que la mise à jour est terminée, vous devez simplement éteindre et rallumer le caméscope.
- Utilisez l'application Content Browser Mobile V2.3 ou ultérieure.
- Pour plus de détails, consultez le mode d'emploi le plus récent (fichier PDF). Vous pouvez télécharger le mode d'emploi le plus récent (fichier PDF) sur le site Web Sony.

Ajout des menus pour le stockage de fichiers

- Les éléments de réglage et les données de réglage peuvent être stockés sur ou rappelés depuis une mémoire SxS/USB en tant que fichier utilisateur. Ces fonctions sont opérationnelles sous « OTHERS » > « User Data ».
- Le profil d'image peut être stocké sur ou rappelé depuis une clé USB. Ces fonctions sont opérationnelles sous « PICTURE PROFILE SET » > « PP Data ».
- Il est possible de stocker jusqu'à 64 fichiers de configuration, fichiers utilisateur et profils d'image.
- Il est possible de nommer le fichier de configuration et le fichier utilisateur.
 - « Camera Data » > « File ID »
 - « User Data » > « File ID »

Ajout de l'écran d'état RECENT FILES

L'écran d'état affiche les informations de fichier (jusqu'à 9) qui ont été récemment chargées sur la liste dans l'ordre de chargement. Sur l'écran d'état RECENT FILES, vous pouvez afficher sur la liste jusqu'à 9 fichiers d'informations de fichier (jusqu'à 3 pour le fichier de configuration, le fichier utilisateur ou le profil d'image). La date et l'heure de chargement du fichier, le type de fichier, le type de support et le nom de fichier s'affichent.

Enregistrement du menu de personnalisation de fichier dans le menu USER

Les éléments de menu pour stocker ou rappeler un fichier de configuration, un fichier utilisateur ou un profil d'image peuvent être enregistrés dans le menu USER.

Désactivation du réglage d'assignation lorsque le menu est verrouillé

Si un élément de menu non enregistré dans le menu USER est assigné au bouton assignable lorsque le menu est verrouillé, le réglage d'assignation est désactivé.

Cette fonction est utile lorsque vous ne souhaitez pas modifier un réglage de menu autre que le menu USER.

Remarques

- Si le menu est verrouillé alors que les éléments de menu du menu de configuration répertoriés ci-dessous ne sont pas enregistrés dans le menu USER, la fonction de l'élément de menu ne peut pas être assignée aux boutons assignables.

Éléments du menu de configuration	Éléments de menu pouvant être assignés aux boutons assignables
CAMERA SET > Handle Zoom	Handle Zoom
CAMERA SET > Clip Cont.Rec > Setting	Clip Continuous Rec
CAMERA SET > PCache Rec > Setting	Picture Cache
CAMERA SET > TLCS > Mode	Spotlight Backlight
LCD/VF SET > Zebra > Setting	Zebra
LCD/VF SET > Peaking > Setting	Peaking

LCD/VF SET > Marker > Setting	Marker
LCD/VF SET > EVF > Mode	VF Mode
LCD/VF SET > Display On/Off > Brightness Display	BRT Disp
LCD/VF SET > Display On/Off > Histogram Display	Histogram
LCD/VF SET > Display On/Off > Lens Info	Lens Info
NETWORK SET > NW Client Mode > Setting	NW Client Mode

Si les fonctions répertoriées ci-dessus sont assignées aux boutons assignables, les réglages d'assignation sont désactivés automatiquement lorsque le menu est verrouillé.

- Si le menu est verrouillé alors que « SEL » du menu PICTURE PROFILE n'est pas enregistré dans le menu USER, la sélection depuis le menu Direct est désactivée.

Fonction de commutation de la température de couleur de la balance des blancs

Le nombre d'éléments de réglage de température de couleur pour la balance des blancs prédéfinie augmente à 4. Vous pouvez commuter les réglages parmi 4 paramètres de température de couleur avec la fonction d'assignation en réglant la température de couleur au préalable.

- Vous pouvez sélectionner le réglage de température de couleur parmi 4 paramètres sous « PICTURE PROFILE SET » > « White » > « Preset White Sel ».
- Vous pouvez sélectionner la température de couleur du réglage de température de couleur sélectionné sous « Preset White Sel ».
- Vous pouvez commuter la température de couleur avec le bouton assignable en réglant « WB Preset » sur « Assign Button » <1> à <5>.

Remarque

Cette fonction est disponible lorsque la balance des blancs est en mode prédéfini.

Ajout du format d'enregistrement du proxy

« HD/SD Auto » peut être sélectionné pour le format d'enregistrement du proxy.

Vous pouvez le sélectionner sous « NETWORK SET » > « Proxy File » > « Size ».

Remarques

- Lorsque le caméscope est en mode client réseau pendant la sélection de « HD/SD Auto », l'enregistrement du proxy est désactivé. Même si « NCM with Proxy » est réglé sur « Enable », l'enregistrement du proxy est désactivé.
- Quand « NETWORK SET » > « Proxy File » > « Size » est réglé sur « HD/SD Auto » alors que « OTHERS » > « System » > « Format » est réglé sur « 1080/23.98P » et que « VIDEO SET » > « 23.98P Output » est réglé sur « 23.98PsF », l'enregistrement du proxy est désactivé.
- Lorsque vous sélectionnez « HD/SD Auto », la taille est définie selon le réglage du format d'enregistrement enregistré sur la carte mémoire SxS ou du format du clip à lire.
- Le fichier proxy enregistré avec « HD/SD Auto » peut ne pas être lu par le navigateur Web et Content Browser Mobile. Insérez la carte SD avec le fichier proxy enregistré sur l'ordinateur directement pour la lecture.

Ajout du format de diffusion continue

Le format de débit binaire inférieur est disponible.

Vous pouvez le sélectionner sous « NETWORK SET » > « Streaming Edit » > « Bit Rate ».

- Pour « Size » > 480 × 270 :
0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)/0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)
- Pour « Size » > 320 × 180 :
0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

Remarque

Dans ce cas, le taux de trame vidéo est de 10fps, la fréquence d'échantillonnage audio est de 48 kHz et le débit binaire audio est de 56 kbps pour la mono.

Réglage du canal audio pour l'enregistrement du proxy

Le canal audio pour l'enregistrement du proxy peut se régler dans le menu de configuration.

Vous pouvez le sélectionner sous « NETWORK SET » > « Proxy File » > « Audio Channel ».

Réglage du canal audio pour la diffusion continue

Le canal audio pour la diffusion continue peut se régler dans le menu de configuration.

Vous pouvez le sélectionner sous « NETWORK SET » > « Streaming » > « Audio Channel ».

Durée d'enregistrement d'un support SxS améliorée

La durée d'enregistrement maximale d'un support SxS pour l'enregistrement de plusieurs clips est améliorée.

Principales fonctions mises à jour avec le logiciel du caméscope (V2.2) et le logiciel de fonction réseau (V2.32)

Remarques

- Vous devez mettre à jour le logiciel du caméscope ainsi que le logiciel de fonction réseau. Vous devez d'abord mettre à jour le logiciel du caméscope puis le logiciel de fonction réseau.
- Une fois la mise à jour du logiciel du caméscope terminée, « Version Upgrade/OK: Turn Power Off » s'affiche. Si vous ne faites rien, le message d'erreur « E-31001 » risque d'apparaître. Étant donné que la mise à jour est terminée, vous devez simplement éteindre et rallumer le caméscope.
- Utilisez l'application Content Browser Mobile V2.2 ou ultérieure.
- Pour plus de détails, consultez le mode d'emploi le plus récent (fichier PDF). Vous pouvez télécharger le mode d'emploi le plus récent (fichier PDF) sur le site Web Sony.

Ajout du menu USER

Le menu USER est une nouveauté. Vous pouvez enregistrer vos options préférées des menus CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, LCD/VF SET, TC/UB SET, NETWORK SET, OTHERS ou PICTURE PROFILE dans le menu USER. L'enregistrement est possible au moyen du menu USER MENU CUSTOMIZE.

Ajout de la fonction de verrouillage des menus

Une fonction a été ajoutée pour permettre de verrouiller le menu de configuration et d'afficher seulement le menu USER.

- Appuyez simultanément sur la commande rotative et le bouton MENU pour afficher le menu de configuration et saisir le mot de passe sous User Menu with Lock>On afin de verrouiller l'affichage des menus et d'afficher seulement le menu USER. Il s'agit d'une fonction utile quand vous ne souhaitez pas modifier les paramètres de menu, à l'exception de ceux du menu USER.

- Pour déverrouiller et afficher à nouveau toutes les listes de menu, appuyez simultanément sur la commande rotative et le bouton MENU afin d'afficher le menu de configuration, puis saisissez le mot de passe que vous avez saisi sous User Menu with Lock>Off.

Remarque

Il est recommandé de noter votre mot de passe en vue de son utilisation ultérieure. Si vous oubliez votre mot de passe, contactez un représentant du service à la clientèle Sony.

Prise en charge de la carte SDXC

Enregistrement du fichier original

Avec l'adaptateur de support MEAD-SD02 en option, vous pouvez enregistrer sur une carte SDXC et la lire.

Une carte SDXC ne peut être utilisée qu'en mode exFAT.

Carte SDXC (Classe de vitesse SD : 10)

Remarques

- Quand vous employez la carte SDXC avec cet appareil, formatez-la à l'aide de la fonction de formatage de l'appareil (OTHERS>Format Media>Media(A) ou Media(B)).
- Une carte SDXC ne permet pas nécessairement la lecture accélérée.
- Quand vous employez une carte SDXC, n'utilisez simultanément aucun autre type de carte mémoire. Quand il n'y a plus d'espace libre sur le support, il n'est pas possible de passer à un autre support si vous utilisez simultanément d'autres types de supports.
- Il est possible que l'enregistrement au format XAVC-I ou l'enregistrement en ralenti et accéléré ne se déroule pas correctement, selon la carte mémoire SDXC utilisée. Il est recommandé d'utiliser une carte mémoire SxS PRO ou SxS PRO+.
- Selon le type d'appareil utilisé, il est possible qu'une carte SDXC enregistrée avec un caméscope des gammes PMW et PXW ne convienne pas pour l'enregistrement et la lecture sur votre appareil. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony ou un représentant du service à la clientèle Sony.

Enregistrement du fichier de proxy

Une carte SDXC est ajoutée aux supports d'enregistrement du proxy.

Carte SDXC (Classe de vitesse SD : supérieure à 4)

Remarques

- Quand vous utilisez la carte SDXC avec cet appareil, formatez-la à l'aide de la fonction de formatage de l'appareil (NETWORK SET>Proxy File>Format SD Card).
- Ce caméscope formate la carte SDXC en exFAT.

Ajout du format de prise en charge de l'enregistrement simultané dans 2 fentes

Le format prenant en charge l'enregistrement simultané dans 2 fentes SxS a été ajouté.

Les formats suivants sont ajoutés :

- Quand un des formats suivants est défini sous « System » du menu OTHERS pour le mode exFAT/HD
 - MPEG2 HD422
 - MPEG2 HD420HQ
- Quand un des formats suivants est défini sous « System » du menu OTHERS pour le mode UDF/HD
 - MPEG2 HD422
 - MPEG2 HD420HQ

Remarque

En cas d'enregistrement simultané dans les 2 fentes, utilisez des cartes mémoire de même type et de même taille.

Ajout de la fonction d'enregistrement du proxy en mode client réseau

La fonction d'enregistrement du proxy en mode client réseau est ajoutée quand la station RX réseau Sony PWS-100RX1 (en option) est connectée.

- Pour enregistrer le proxy quand le mode client réseau est activé, définissez les paramètres suivants.
 - CAMERA SET>Proxy>On
 - NETWORK SET>NW Client Mode>NCM with Proxy>Enable

Remarques

- Le débit binaire de diffusion continue qui peut être défini sur la station RX réseau PWS-100RX1 est limité par le format d'enregistrement du proxy.
 - Quand le format d'enregistrement du proxy est de 1280 x 720 9Mbps/6Mbps : le débit binaire de la diffusion continue est 1Mbps ou moins de Very Low.
 - Quand le format d'enregistrement du proxy est de 640 x 360 3Mbps maximum : le débit binaire de la diffusion continue est 3Mbps ou moins de Low.
- Le format du proxy ne peut pas être modifié quand le mode client réseau est actif. Pour modifier le format du proxy, désactivez le mode client réseau.

Ajout de la fonction de transfert de fichier en mode client réseau

Vous pouvez transférer le fichier au serveur défini dans le CCM en connectant l'appareil au CCM de la station RX réseau PWS-100RX1 (en option) en mode client réseau.

Remarques

- Il n'est pas possible de transférer un fichier pendant la diffusion continue au moyen du mode client réseau.
- Le transfert de fichier s'arrête si vous démarrez la diffusion continue en mode client réseau pendant le transfert. Le transfert de fichier redémarre si vous arrêtez la diffusion continue.

Transfert partiel d'un fichier d'origine enregistré sur cet appareil

Lorsque vous utilisez l'application « Content Browser Mobile », vous pouvez transférer une partie coupée d'un fichier en spécifiant les repères de début et de fin dans le fichier d'origine enregistré par cet appareil.

Vous pouvez aussi transférer des parties coupées de plusieurs fichiers dans la Table de montage séquentiel.

Utilisez la dernière version de l'application « Content Browser Mobile ».

- Les formats suivants sont compatibles pour le fichier original :
 - Mode exFAT : XAVC-I/XAVC-L50, 35, 25/MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ
 - Mode UDF : MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ

Remarques

- Pour transférer partiellement le fichier original à l'aide de l'application « Content Browser Mobile », enregistrez le fichier proxy portant le même nom de fichier que le fichier original avec les paramètres suivants.
 - Réglez « Proxy » du menu CAMERA SET sur « On ».
 - Réglez « Match Clip Name » du menu VIDEO SET sur « On ».

—Réglez « NCM with Proxy » sous « NW Client Mode » du menu NETWORK SET sur « Enable » quand le mode client réseau est activé.

- Il n'est pas possible d'exécuter les opérations suivantes pendant le transfert partiel du fichier original.
 - Manipulation des plans
 - Formatage du support
 - Connexion au PC via USB
- Pendant le transfert partiel du fichier original, la durée requise pour stocker les images dans la mémoire cache des images, à l'aide de la fonction d'enregistrement dans la mémoire cache des images, est inférieure à la durée définie par « Rec Time » sous « P.Cache Rec » du menu CAMERA SET.

Ajout de l'affichage d'état du paramètre de télécommande Wi-Fi

Dans l'écran d'état des boutons/télécommande, il a été ajouté l'affichage des paramètres du menu Network Remote qui active/désactive l'accès à la télécommande Wi-Fi et au menu Web de ce caméscope.

Principales fonctions mises à jour avec le logiciel du caméscope (V2.1) et le logiciel de fonction réseau (V2.12 / V2.15)

Remarques

- Vous devez mettre à jour le logiciel du caméscope ainsi que le logiciel de fonction réseau. Vous devez d'abord mettre à jour le logiciel du caméscope puis le logiciel de fonction réseau.
- Utilisez l'application Content Browser Mobile V2.0 ou ultérieure.

Module LAN sans fil compatible 5GHz CBK-WA02 (vendu séparément)

Quand le nouveau module LAN sans fil est installé, « Auto (5GHz) » est ajouté sous « NETWORK SET » > « Channel ». Quand le mode de fonctionnement du LAN sans fil est réglé sur « Station » sous « NETWORK SET » > « Network Mode », vous pouvez accéder aux points d'accès compatibles 5GHz.

Remarque

« Auto (5GHz) » risque de ne pas s'afficher selon le module LAN sans fil utilisé.

Ne s'affiche pas si le module est destiné à un pays ou à une région où l'utilisation de la bande des 5GHz en extérieur est interdite. Vérifiez si le module LAN sans fil est pris en charge dans le pays ou la région d'utilisation. Pour plus de détails, consultez le mode d'emploi du module LAN sans fil.

Méthode de fixation du module LAN sans fil (CBK-WA02 (vendu séparément))

1. Ouvrez le couvercle du connecteur de périphérique externe.
2. Raccordez au caméscope l'adaptateur d'extension du module réseau (CBK-NA1E) fourni avec le module LAN sans fil CBK-WA02 (vendu séparément).

Raccordez la borne convexe au connecteur pour périphérique externe du caméscope et raccordez le module LAN sans fil à la borne concave. Vous pouvez raccorder l'adaptateur au trou de vis (1/4 pouce) de la monture pour griffe porteaccessoire.
3. Raccordez le module LAN sans fil à l'adaptateur d'extension du module réseau.

Remarque

Branchez/débranchez le module LAN sans fil quand le caméscope est hors tension.

Principales fonctions mises à jour dans la V2.0

Remarques

- Vous devez mettre à jour le logiciel du caméscope ainsi que le logiciel de fonction réseau. Vous devez d'abord mettre à jour le logiciel du caméscope puis le logiciel de fonction réseau.
- Une fois la mise à jour du logiciel du caméscope terminée, « Version Upgrade/OK: Turn Power Off » s'affiche. Si vous ne faites rien, le message d'erreur « E-31001 » risque d'apparaître. Étant donné que la mise à jour est terminée, vous devez simplement éteindre et rallumer le caméscope.
- Pour plus d'informations sur les méthodes d'utilisation des fonctions supplémentaires, consultez « À propos des fonctions supplémentaires » (fichier PDF). Vous pouvez télécharger « À propos des fonctions supplémentaires » sur le site Web Sony.

Ajout de la fonction de streaming de haute qualité au moyen de la technologie QoS de Sony

Quand il est utilisé avec la station RX du réseau Sony PWS-100RX1 (vendue séparément), le nouveau mode client réseau permet de profiter du streaming haute qualité pris en charge par la technologie Sony QoS via le réseau LTE/4G.

- Le paramètre de connexion peut être défini dans « NW Client Mode » > « CCM Address », « CCM Port », « User Name », « Password » dans le menu NETWORK SET.
- Le mode client réseau peut être activé/désactivé dans « NW Client Mode » > « Setting » dans le menu NETWORK SET.
- Quand le mode client réseau est sélectionné, le réglage et la commande du streaming s'effectuent via le PWS-100RX1.
- Vous pouvez vérifier l'état du mode client réseau dans l'écran Device Status du menu Web intégré au caméscope.

Remarques

- Le streaming, la surveillance, l'enregistrement proxy ou le transfert de fichiers ne sont pas possibles en cas de basculement vers le mode client réseau.
- En cas de basculement vers le mode client réseau pendant la surveillance, l'enregistrement proxy ou le transfert de fichiers, il est mis fin à ces opérations.

À propos de l'acquisition des informations de positionnement (GPS)

Vous pouvez enregistrer les informations de positionnement dans les données du proxy via le GPS.

Enregistrement des images fixes des données de proxy

Une fois l'enregistrement du proxy réalisé, l'image fixe de la première trame des données de proxy est enregistrée simultanément.

Affichage des miniatures des données de proxy

Vous pouvez afficher rapidement les miniatures des données de proxy en utilisant l'image fixe de la première trame.

Transfert partiel des données de proxy

Lorsque vous utilisez l'application Content Browser Mobile V2.0 ou ultérieure, vous pouvez transférer les données partielles tronquées en spécifiant le point d'entrée et le point de sortie à partir des données de proxy.

Remarques

- La marge de 15 trames maximale est rattachée à l'avant et à l'arrière du point tronqué dans un fichier généré.
- Lorsque vous tronquez les données de proxy enregistrées avec le logiciel de fonction réseau V1.32 ou antérieure, les données ne peuvent pas être prises sur l'éditeur non linéaire.

Rattachement des repères de scène essentielle aux données enregistrées de cet appareil

Lorsque vous utilisez l'application Content Browser Mobile V2.0 ou ultérieure, vous pouvez rattacher les repères de scène essentielle tout en enregistrant sur cet appareil. Ceux-ci s'appliquent également aux données de proxy. Vous pouvez définir la position de clip d'un fichier simplement grâce aux informations de ce repère de scène essentielle.

Remarques

- Cette fonctionnalité est seulement activée pour le fichier de proxy de même durée d'enregistrement qui succède aux informations du fichier original enregistrées sur cet appareil.
- Lorsque le fichier d'origine est scindé, les repères de scène essentielle ne s'appliquent pas aux données de proxy.

À propos du format de diffusion continue et du format de proxy

Lorsque « Bit Rate » dans le réglage du format de proxy est réglé sur « 9Mbps » en V1.2 (logiciel du caméscope), « Bit Rate » dans le réglage de la diffusion continue peut être réglé sur une valeur supérieure à « 6Mbps ». Ce réglage peut cependant se faire en V2.0 (logiciel du caméscope). Si vous sélectionnez le pré-réglage pour lequel « Bit Rate » est réglé sur une valeur supérieure à « 6Mbps », « Bit Rate » dans la diffusion continue ne bascule pas automatiquement sur « 3Mbps ».

À propos de la surveillance de Content Browser Mobile

L'image vidéo de surveillance peut cesser en raison des conditions de signal lors de l'utilisation ou des périphériques mobiles.

Modification du format de surveillance

« 640x360 (3Mbps) » pour « Size » est supprimé du format de surveillance. Si vous utilisez ce réglage, « Size » est réglé sur « 480x270 (1Mbps) ».

Changement de canal LAN sans fil

Le réglage du canal LAN sans fil est partiellement modifié (« Channel » dans le menu NETWORK SET).

Alimentation du microphone sans fil installé sur la griffe multi interface

D'origine, la griffe multi interface ne pouvait pas être alimentée pendant l'utilisation de la fonction réseau. À partir de cette version, la griffe multi interface peut être alimentée quand le caméscope fonctionne sur batterie. C'est ainsi que vous pouvez utiliser le microphone sans fil UWP-D11/D12 en même temps que la fonction réseau.

Changements d'autres menus

<Menu LCD/VF SET>

- « NW Client Status » a été ajouté à « Display On/Off ». L'affichage d'état de la connexion au CCM s'active/se désactive dans « NW Client Mode ».

<Menu NETWORK SET>

- Ajout de « 6Mbps » sous « Proxy File » > « Bit Rate »
- Le nom de menu « Wi-Fi Remote » a été remplacé par « Network Remote ».

De part ce changement de nom de menu, il est possible d'accéder au menu Web de l'appareil et à la télécommande Wi-Fi quand « Wired LAN » est sélectionné dans « Network Mode » du menu NETWORK SET.

<Menu OTHERS>

- « NW Client Mode » a été ajouté à « Assign Button » > « <1> » à « <5> ».

Vous pouvez aussi affecter la fonction « NW Client Mode » à la touche programmable.

Principales fonctions mises à jour dans la V1.2

Remarque

Les fonctions réseau ont été élargies. Par conséquent les couches du menu ainsi que les noms des éléments ont été modifiés. Pour de plus amples détails, consultez le dernier manuel (PDF).

Enregistrement simultané sur 2 slots

L'enregistrement simultané sur 2 slots SxS est pris en charge.

- La fonction peut être activée/désactivée dans le menu > « Simul Rec » sous CAMERA SET.

Remarques

- En mode exFAT/HD, l'enregistrement simultané ne peut être utilisé qu'avec les formats suivants.

XAVC-I
XAVC-L50
XAVC-L35
XAVC-L25

- Pendant l'enregistrement simultané, vous devez utiliser des cartes mémoire de même type et de même capacité.
- L'enregistrement simultané ne peut pas être utilisé en même temps que les fonctions suivantes :

Enregistrement image par image
Enregistrement continu de plans
Enregistrement dans la mémoire cache des images
Ralenti et accéléré
Enregistrement par intervalle
Enregistrement proxy
Connexions réseau (lorsque « Network&Proxy » est réglé sur « NW&Proxy/USB » sous le menu NETWORK SET.)
Streaming

Fonction de streaming

La fonction de streaming en direct d'une vidéo du caméscope via l'Internet ou un réseau local a été ajoutée.

- La fonction peut être activée/désactivée dans « Streaming » > « Setting » sous le menu NETWORK SET, et un pré-réglage peut être sélectionné dans « Preset Select ».
- Les fonctions comme la modification des pré-réglages sont disponibles dans « Streaming Edit » sous le menu NETWORK SET.

Remarques

Lorsque l'option « Bit Rate » du format d'enregistrement proxy est réglée sur « 9Mbps »,

- l'option « Bit Rate » du réglage du streaming ne peut pas être réglée sur « 6Mbps » ou sur une valeur supérieure.
- Si vous sélectionnez un pré-réglage dont la valeur « Bit Rate » est réglée sur « 6Mbps » ou plus, l'option « Bit Rate » du streaming passera automatiquement à « 3Mbps ».

Compatible avec modem LTE/réseau LAN câblé

La connexion réseau est disponible en raccordant l'adaptateur d'extension du module réseau fourni avec le kit adaptateur réseau optionnel CBK-NA1 et le modem optionnel 3G/4G/LTE au connecteur externe de l'appareil. Un adaptateur USB-RJ45 fourni avec le kit adaptateur de réseau optionnel CBK-NA1 est également pris en charge pour fournir une connexion réseau à l'aide d'un câble réseau.

- Un modem 3G/4G/LTE peut être utilisé en sélectionnant « Modem » dans « Network Mode » sous le menu NETWORK SET.

- Un réseau LAN câblé peut être paramétré dans « Wired LAN Set » sous le menu NETWORK SET.

Remarques

- Pour les modems compatibles, contactez votre revendeur Sony ou un représentant du service à la clientèle Sony.
- Lorsque l'option « Bit Rate » du streaming est réglée sur « 9Mbps » ou sur « 6Mbps », vous devez préalablement régler l'option « Bit Rate » du format d'enregistrement proxy sur des valeurs autres que « 9Mbps ».

Fonction GPS

Le module GPS intégré peut être activé.

La fonction peut être activée/désactivée dans « GPS » sous le menu OTHERS.

Compatible avec la griffe multi interface

Tout accessoire compatible avec la griffe multi interface peut être utilisé avec la griffe porte-accessoire située à l'avant de l'appareil.

- Un microphone compatible avec la griffe multi interface peut être utilisé en réglant « CH1 EXT Input » et « CH2 EXT Input » sur « SHOE MIC » dans « Audio Input » sous le menu AUDIO SET.
- Lorsqu'une torche vidéo compatible avec la griffe multi interface est utilisée, la commande d'activation/de désactivation de la torche peut être reliée à celle du caméscope en sélectionnant « Video light Set » sous le menu CAMERA SET.

Remarque

Pour les accessoires compatibles avec la griffe multi interface, contactez votre revendeur.

Compatible avec 3G-SDI Level A

La sortie 3G-SDI Level A est disponible et s'ajoute à celle de Level B.

- « Level A » ou « Level B » peut être sélectionné dans « 3G SDI OUT Level A/B » sous le menu VIDEO SET.

Deutsch

Freigabemitteilung

Wichtige in der Camcordersoftware (V2.5) und der Netzwerkfunktionssoftware (V3.12) aktualisierte Funktionen

Zugangspunkteinstellung für den Stationsmodus

Sie können eine Verbindung mit dem gewünschten Zugangspunkt über das Einstellungsmenü herstellen. Die Verbindungseinstellung kann unter „NETWORK SET“ > „Station Set“ vorgenommen werden.

Hinweis

Wenn Sie die Verbindungseinstellung unter „NETWORK SET“ > „Station Set“ vornehmen wollen, wählen Sie „Station“ unter „NETWORK SET“ > „Network Mode“.

Mehrere Einstellungen für den Zugangspunkt im Netzwerk-Client-Modus

Bis zu drei Zugangspunkteinstellungen können für den Netzwerk-Client-Modus festgelegt werden.

- Das Auswählen einer Voreinstellung ist unter „NETWORK SET“ > „NW Client Mode“ > „Preset Select“ verfügbar.
- Das Bearbeiten einer Voreinstellung ist unter „NETWORK SET“ > „NW Client Edit“ verfügbar.

Proxy-Aufzeichnung ein-/ausschaltbar

Das Ein-/Ausschalten der Proxy-Aufzeichnung kann jetzt einer frei belegbaren Funktionstaste zugewiesen werden.

Wenn Sie die frei belegbare Funktionstaste drücken, der die Proxy-Funktion zugewiesen wurde, können Sie die Proxy-Aufzeichnung ein-/ausschalten.

Hinweis

Zum Aktivieren der Funktion setzen Sie „NETWORK SET“ > „NW&Proxy/USB“ auf „Network&Proxy“.

Automatische Übertragung der Proxy-Datei

Es gibt jetzt eine Funktion, mit der die Proxy-Datei am Ende der Proxy-Aufzeichnung automatisch auf den in „Upload Settings“ eingestellten Standardserver übertragen wird, wenn eine Internetverbindung besteht.

Stellen Sie die Funktion in „NETWORK SET“ > „Proxy File“ > „Auto Upload“ ein.

Hinweis

Stellen Sie den Server für die Übertragung zuvor im Web-Menü oder in „Upload Settings“ der App „Content Browser Mobile“ ein.

Wichtige mit der Camcordersoftware (V2.4) und der Software für die Netzwerkfunktion (V3.02) aktualisierte Funktionen

Kompatibel mit XDCAM air

XDCAM air ist ein Cloud-Dienst, der von Sony bereitgestellt wird. Wenn Sie diesen Dienst nutzen wollen, ist eine Registrierung erforderlich.

XDCAM air wird in einigen Regionen nicht bereitgestellt.

Ausführliche Informationen zu den Gebieten, in denen der Dienst bereitgestellt wird, finden Sie auf der folgenden Website.

<https://www.xdcam-air.com>

Für weitere Informationen wenden Sie sich an Vertriebsmitarbeiter von Sony Professional.

Bei einer Verbindung mit dem Connection Control Manager (CCM) oder mit XDCAM air können Sie Dateien mit der Funktion für Streamingübertragung in hoher Qualität übertragen.

- Geben Sie die URL von XDCAM air in „NETWORK SET“ > „NW Client Mode“ > „CCM Address“ ein. Der Netzwerk-Client-Modus wird aktiviert und der Camcorder wird mit XDCAM air verbunden.
- Nach dem Herstellen der Verbindung lässt sich die Übertragung von Live-Videos über XDCAM air starten. Weitere Einzelheiten dazu finden Sie in der Online-Hilfe zu XDCAM air.

Hinweis

Wenn Sie „User Name“ und „Password“ eingeben, wird bei diesem Camcorder ein Yen-Zeichen (¥) statt eines umgekehrten Schrägstrichs (\) angezeigt.

Weitere Option im Einstellmenü

„OSS Information“ wurde zum Einstellmenü hinzugefügt, das durch Berühren von  links oben im Web-Menübildschirm angezeigt werden kann.

Hinweis

„OSS Information“ wurde aus „Device Status“ verschoben.

Automatisches Starten der Dateiübertragung nach der Aufnahme

Wenn „Auto upload“ im Web-Menü auf „On“ gesetzt ist, wird eine auf einer SD-Karte gespeicherte Datei nach der Aufnahme automatisch übertragen. Wenn der Camcorder die Proxydatei aufzeichnet, die die Informationen und die Aufzeichnungsdauer auf Grundlage der Planungsmetadaten vom Original übernimmt,

wird anhand der Informationen des <Title>-Tag in den Planungsmetadaten ein Ordner erstellt und die Datei wird in diesen Ordner übertragen.

Zudem wird die ID des Mediums zum Dateinamen hinzugefügt und anschließend wird die Planungsmetadatendatei übertragen.

Fehlermeldung zu Fehler-/Warnanzeigen neu hinzugekommen

Die folgende Fehlermeldung wurde hinzugefügt. Sie erscheint auf dem Bildschirm „Device Status“ an dem Gerät, zu dem eine Verbindung über WLAN besteht, wenn der Camcorder einen Fehler erkennt.

Typ	Fehler-/Warn-ID	Beschreibung
Kommunikation	E03-008	Zertifizierungsfehler

Wichtige mit der Camcordersoftware (V2.3) und der Software für die Netzwerkfunktion (V2.42) aktualisierte Funktionen

Hinweise

- Sie müssen die Camcordersoftware und die Software für die Netzwerkfunktion aktualisieren. Aktualisieren Sie zuerst die Camcordersoftware und danach die Software für die Netzwerkfunktion.
- Wenn die Aktualisierung der Camcordersoftware abgeschlossen ist, erscheint „Version Upgrade/OK: Turn Power Off“. Wenn Sie den Camcorder nicht bedienen, erscheint möglicherweise die Fehlermeldung „E-31001“. Da die Aktualisierung abgeschlossen ist, schalten Sie einfach den Camcorder aus und wieder ein.
- Verwenden Sie die Anwendung Content Browser Mobile V2.3 oder höher.
- Einzelheiten schlagen Sie bitte in der neuesten Bedienungsanleitung (PDF-Datei) nach. Die neueste Bedienungsanleitung (PDF-Datei) können Sie von der Sony-Website herunterladen.

Menüs zum Speichern von Dateien neu hinzugekommen

- Die Einstelloptionen und Einstellungsdaten können auf einem SxS-/USB-Speicher als Benutzerdatei gespeichert bzw. von dort abgerufen werden. Diese Funktionen stehen in „OTHERS“ > „User Data“ zur Verfügung.
- Das Bildprofil kann auf einem USB-Flash-Laufwerk gespeichert bzw. von dort abgerufen werden. Diese Funktionen stehen in „PICTURE PROFILE SET“ > „PP Data“ zur Verfügung.
- Bis zu 64 Setup-Dateien, Benutzerdateien und Bildprofile können gespeichert werden.
- Für gespeicherte Setup-Dateien und Benutzerdateien können Sie einen Namen eingeben.
 - „Camera Data“ > „File ID“
 - „User Data“ > „File ID“

Statusbildschirm RECENT FILES neu hinzugekommen

Der Statusbildschirm zeigt Informationen zu Dateien (bis zu 9), die zuletzt geladen wurden, in der Liste an, und zwar in der Reihenfolge des Ladens.

Auf dem Statusbildschirm RECENT FILES können Sie in der Liste bis zu 9 Dateien mit Dateiinformatoren anzeigen (bis zu je 3 Dateien für Setup-Datei, Benutzerdatei und Bildprofil).

Datum und Uhrzeit des Ladens der Datei, Dateityp, Medientyp und Dateiname werden angezeigt.

Registrieren des Dateiverwaltungsmenüs im Menü USER

Die Menüoptionen zum Speichern oder Abrufen einer Setup-Datei, Benutzerdatei oder eines Bildprofils können im Menü USER registriert werden.

Einstellung einer zugewiesenen Funktion ist deaktiviert, solange das Menü gesperrt ist

Wenn eine Menüoption, die nicht im Menü USER registriert ist, einer frei belegbaren Funktionstaste zugewiesen ist und das Menü gesperrt wird, wird die Einstellung der zugewiesenen Funktion deaktiviert.

Diese Funktion ist nützlich, wenn nur noch die Menüeinstellungen im Menü USER zu ändern sein sollen.

Hinweise

- Wenn das Menü gesperrt ist und die Menüoptionen der unten aufgelisteten Einstellungsmenüs nicht im Menü USER registriert sind, kann die Funktion der Menüoption nicht einer frei belegbaren Funktionstaste zugewiesen werden.

Menüoptionen der Einstellungsmenüs	Den frei belegbaren Funktionstasten zuweisbare Menüoptionen
CAMERA SET > Handle Zoom	Handle Zoom
CAMERA SET > Clip Cont.Rec > Setting	Clip Continuous Rec
CAMERA SET > PCache Rec > Setting	Picture Cache
CAMERA SET > TLCS > Mode	Spotlight Backlight
LCD/VF SET > Zebra > Setting	Zebra
LCD/VF SET > Peaking > Setting	Peaking
LCD/VF SET > Marker > Setting	Marker
LCD/VF SET > EVF > Mode	VF Mode
LCD/VF SET > Display On/Off > Brightness Display	BRT Disp
LCD/VF SET > Display On/Off > Histogram Display	Histogram
LCD/VF SET > Display On/Off > Lens Info	Lens Info
NETWORK SET > NW Client Mode > Setting	NW Client Mode

Wenn die oben aufgelisteten Funktionen frei belegbaren Funktionstasten zugewiesen sind und das Menü gesperrt wird, werden die entsprechenden Einstellungen automatisch deaktiviert.

- Wenn „SEL“ im Menü PICTURE PROFILE nicht im Menü USER registriert ist und das Menü gesperrt wird, wird die Auswahl über das Direktmenü deaktiviert.

Funktion zum Umschalten der Farbtemperatur für den Weißabgleich

Die Anzahl der Einstelloptionen für die Farbtemperatur des voreingestellten Weiß erhöht sich auf 4. Wenn Sie die Farbtemperatur vorab einstellen, können Sie über eine frei belegbare Funktionstaste zwischen 4 Farbtemperatur-einstellungen umschalten.

- Sie können in „PICTURE PROFILE SET“ > „White“ > „Preset White Sel“ zwischen 4 Einstellungen für die Farbtemperatur auswählen.
- Sie können die Farbtemperatur für die in „Preset White Sel“ ausgewählte Farbtemperatureinstellung einstellen.
- Sie können die Farbtemperatur über eine frei belegbare Funktionstaste umschalten, wenn Sie „WB Preset“ auf eine der Optionen „Assign Button“ <1> bis <5> setzen.

Hinweis

Diese Funktion steht zur Verfügung, wenn als Einstellmodus für den Weißabgleich der Preset-Modus eingestellt ist.

Neues Proxy-Aufnahmeformat

„HD/SD Auto“ kann als Proxy-Aufnahmeformat ausgewählt werden.

Nehmen Sie die Auswahl in „NETWORK SET“ > „Proxy File“ > „Size“ vor.

Hinweise

- Wenn sich der Camcorder im Netzwerk-Client-Modus befindet und „HD/SD Auto“ ausgewählt wird, wird die Proxy-Aufzeichnung deaktiviert. Auch wenn „NCM with Proxy“ auf „Enable“ gesetzt ist, wird die Proxy-Aufzeichnung deaktiviert.
- Wenn „NETWORK SET“ > „Proxy File“ > „Size“ auf „HD/SD Auto“, „OTHERS“ > „System“ > „Format“ auf „1080/23.98P“ und „VIDEO SET“ > „23.98P Output“ auf „23.98PsF“ gesetzt wird, wird die Proxy-Aufzeichnung deaktiviert.
- Wenn Sie „HD/SD Auto“ wählen, wird die Größe je nach dem Format, das für die Aufnahme auf der SxS-Speicherkarte eingestellt war, oder dem Format des wiederzugebenden Clips eingestellt.
- Eine mit „HD/SD Auto“ aufgezeichnete Proxy-Datei wird mit dem Webbrowser und Content Browser Mobile möglicherweise nicht wiedergegeben. Setzen Sie die SD-Karte mit der aufgezeichneten Proxy-Datei für die Wiedergabe direkt in den Computer ein.

Neues Streaming-Format

Sie können ein Format mit niedrigerer Bitrate auswählen.

Nehmen Sie die Auswahl in „NETWORK SET“ > „Streaming Edit“ > „Bit Rate“ vor.

- Bei „Size“ > 480 × 270:
0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)/0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)
- Bei „Size“ > 320 × 180:
0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

Hinweis

In diesem Fall beträgt die Bildfrequenz des Videos 10fps, die Audioabstastfrequenz 48 kHz und die Audiobitrate für Mono 56 kbps.

Audiokanaleinstellung für die Proxy-Aufzeichnung

Der Audiokanal für die Proxy-Aufzeichnung kann im Einstellungsmenü festgelegt werden.

Nehmen Sie die Auswahl in „NETWORK SET“ > „Proxy File“ > „Audio Channel“ vor.

Audiokanaleinstellung für das Streaming

Der Audiokanal für das Streaming kann im Einstellungsmenü festgelegt werden.

Nehmen Sie die Auswahl in „NETWORK SET“ > „Streaming“ > „Audio Channel“ vor.

Längere Aufnahmedauer bei SxS-Medien

Die maximale Aufnahmedauer bei SxS-Medien für die Aufzeichnung mehrerer Clips ist länger.

Wichtige mit der Camcordersoftware (V2.2) und der Software für die Netzwerkfunktion (V2.32) aktualisierte Funktionen

Hinweise

- Sie müssen die Camcordersoftware und die Software für die Netzwerkfunktion aktualisieren. Aktualisieren Sie zuerst die Camcordersoftware und danach die Software für die Netzwerkfunktion.
- Wenn die Aktualisierung der Camcordersoftware abgeschlossen ist, erscheint „Version Upgrade/OK: Turn Power Off“. Wenn Sie den Camcorder nicht bedienen, erscheint möglicherweise die Fehlermeldung „E-31001“. Da die Aktualisierung abgeschlossen ist, schalten Sie einfach den Camcorder aus und wieder ein.
- Verwenden Sie die Anwendung Content Browser Mobile V2.2 oder höher.
- Einzelheiten schlagen Sie bitte in der neuesten Bedienungsanleitung (PDF-Datei) nach. Die neueste Bedienungsanleitung (PDF-Datei) können Sie von der Sony-Website herunterladen.

Neues Menü USER

Das Menü USER wurde neu hinzugefügt und Sie können häufig verwendete Optionen unter CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, LCD/VF SET, TC/UB SET, NETWORK SET, OTHERS oder PICTURE PROFILE im USER-Menü registrieren. Die Registrierung können Sie über das Menü USER MENU CUSTOMIZE vornehmen.

Neue Funktion zum Sperren des Menüs

Es gibt jetzt eine Funktion, mit der Sie das Einstellungsmenü sperren können, sodass nur das Menü USER angezeigt wird.

- Drücken Sie gleichzeitig den Jog-Dial und die Taste MENU, damit das Einstellungsmenü angezeigt wird, und geben Sie für User Menu with Lock>On ein Passwort ein, um die Menüanzeige zu sperren, sodass nur das Menü USER angezeigt wird.
Diese Funktion ist nützlich, wenn nur noch die Menüeinstellungen im Menü USER zu ändern sein sollen.
- Wenn Sie die Sperre aufheben möchten, sodass alle Menülisten wieder angezeigt werden, drücken Sie gleichzeitig den Jog-Dial und die Taste MENU, damit das Einstellungsmenü angezeigt wird, und geben Sie dasselbe Passwort wie zuvor unter User Menu with Lock>Off ein.

Hinweis

Es empfiehlt sich, das Passwort zur späteren Verwendung zu notieren. Wenn Sie das Passwort vergessen, wenden Sie sich an einen Sony-Kundendienstmitarbeiter.

Unterstützung für SDXC-Karten

Aufnehmen von Originaldateien

Mithilfe des optionalen Medienadapters MEAD-SD02 können Sie für die Aufnahme und Wiedergabe SDXC-Karten verwenden. SDXC-Karten können nur im exFAT-Modus verwendet werden. SDXC-Karte (SD-Geschwindigkeitsklasse: 10)

Hinweise

- Wenn Sie eine SDXC-Karte mit diesem Gerät verwenden, formatieren Sie sie mit der Formatierungsfunktion des Geräts (OTHERS>Format Media>Media(A) oder Media(B)).
- Mit einer SDXC-Speicherkarte ist eine einwandfreie Hochgeschwindigkeitswiedergabe eventuell nicht möglich.
- Verwenden Sie zusammen mit einer SDXC-Karte nicht gleichzeitig andere Speicherkartentypen. Wenn Sie gleichzeitig andere Medientypen verwenden und beim Aufzeichnen auf der

Karte kein Platz mehr frei ist, können Sie nicht zu einem anderen Medium umschalten.

- Die Aufzeichnung im XAVC-I-Format oder mit Zeitlupe und Zeitraffer wird je nach verwendeter SDXC-Karte unter Umständen nicht korrekt ausgeführt. Eine SxS PRO- oder SxS PRO+-Speicherkarte wird empfohlen.
- Je nach dem verwendeten Gerätetyp kann eine SDXC-Karte, auf die mit einem anderen Camcorder der PMW- und PXW-Serie aufgezeichnet wurde, nicht für die Aufnahme und Wiedergabe mit diesem Gerät verwendet werden. Einzelheiten dazu erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler oder einem Sony-Kundendienstmitarbeiter.

Aufnahmen von Proxy-Dateien

SDXC-Karten können jetzt als Medien zum Aufnehmen von Proxy-Dateien verwendet werden.

SDXC-Karte (SD-Geschwindigkeitsklasse: höher als 4)

Hinweise

- Wenn Sie eine SDXC-Karte mit diesem Gerät verwenden, formatieren Sie sie mit der Formatierungsfunktion des Geräts (NETWORK SET>Proxy File>Format SD Card).
- Mit diesem Camcorder werden SDXC-Karten im exFAT-Format formatiert.

Simultanaufzeichnung in den 2 Einschüben bei weiteren Formaten unterstützt

Es gibt jetzt weitere Formate, bei denen die Simultanaufzeichnung in den 2 SxS-Einschüben unterstützt wird. Unterstützt wird die Funktion jetzt auch bei folgenden Formaten:

- Wenn im exFAT/HD-Modus eins der folgenden Formate unter „System“ im Menü OTHERS eingestellt ist
 - MPEG2 HD422
 - MPEG2 HD420HQ
- Wenn im UDF/HD-Modus eins der folgenden Formate unter „System“ im Menü OTHERS eingestellt ist
 - MPEG2 HD422
 - MPEG2 HD420HQ

Hinweis

Verwenden Sie für die Simultanaufzeichnung in den 2 Einschüben Speicherkarten desselben Typs und derselben Größe.

Proxy-Aufnahme jetzt auch im Netzwerk-Client-Modus

Die Proxy-Aufnahme ist jetzt im Netzwerk-Client-Modus möglich, wenn die Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1 von Sony (optional) angeschlossen ist.

- Für die Proxy-Aufnahme bei aktiviertem Netzwerk-Client-Modus müssen Sie folgende Einstellungen vornehmen.
 - CAMERA SET>Proxy>On
 - NETWORK SET>NW Client Mode>NCM with Proxy>Enable

Hinweise

- Die Streaming-Bitrate, die an der Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1 eingestellt werden kann, ist je nach dem Proxy-Aufnahmeformat eingeschränkt.
 - Bei einem Proxy-Aufnahmeformat von 1280 × 720 9Mbps/6Mbps: Die Streaming-Bitrate in Very Low beträgt maximal 1Mbps.
 - Bei einem Proxy-Aufnahmeformat von maximal 640 × 360 3Mbps: Die Streaming-Bitrate in Low beträgt maximal 3Mbps.
- Das Proxy-Format kann im Netzwerk-Client-Modus geändert werden. Wenn Sie das Proxy-Format ändern wollen, schalten Sie den Netzwerk-Client-Modus aus.

Dateiübertragung jetzt auch im Netzwerk-Client-Modus

Sie können die Datei auf den im CCM eingestellten Server übertragen, indem Sie dieses Gerät im Netzwerk-Client-Modus mit dem CCM der Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1 (optional) verbinden.

Hinweise

- Während des Streaming im Netzwerk-Client-Modus kann keine Dateiübertragung ausgeführt werden.
- Wenn Sie während der Dateiübertragung das Streaming im Netzwerk-Client-Modus starten, stoppt die Übertragung. Die Dateiübertragung wird neu gestartet, wenn Sie das Streaming stoppen.

Teilweise Übertragung einer auf dieser Einheit aufgezeichneten Originaldatei

Wenn Sie die Anwendung „Content Browser Mobile“ verwenden, können Sie einen beschnittenen Teil einer Datei übertragen, indem Sie in der von dieser Einheit aufgezeichneten Originaldatei In- und Out-Punkt angeben.

Sie können auch die beschnittenen Teile mehrerer Dateien unter Verwendung des Storyboards übertragen.

Verwenden Sie die neueste Version der Anwendung „Content Browser Mobile“.

- Im Folgenden finden Sie kompatible Formate für die Originaldatei:
 - exFAT-Modus: XAVC-I/XAVC-L50, 35, 25/MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ
 - UDF-Modus: MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ

Hinweise

- Um mit „Content Browser Mobile“ Ausschnitte aus der Originaldatei zu übertragen, zeichnen Sie die Proxy-Datei mit demselben Namen wie die Originaldatei und mit den folgenden Einstellungen auf.
 - Setzen Sie „Proxy“ im Menü CAMERA SET auf „On“.
 - Setzen Sie „Match Clip Name“ im Menü VIDEO SET auf „On“.
 - Setzen Sie „NCM with Proxy“ unter „NW Client Mode“ im Menü NETWORK SET auf „Enable“, wenn der Netzwerk-Client-Modus aktiviert ist.
- Bei der Übertragung von Ausschnitten aus der Originaldatei können folgende Funktionen nicht ausgeführt werden.
 - Clipfunktionen
 - Formatieren von Medien
 - Herstellen einer Verbindung zum PC über USB
- Bei der Übertragung von Ausschnitten aus der Originaldatei ist die Zeit für das Speichern von Bildern im Bildpufferspeicher der Bildpufferaufzeichnungsfunktion kürzer als die Zeit, die mit „Rec Time“ unter „P.Cache Rec“ im Menü CAMERA SET eingestellt ist.

Statusanzeige für Einstellung der Wi-Fi-Fernbedienung neu hinzugekommen

Auf dem Statusbildschirm Taste/Fernbedienung wird jetzt die Einstellung des Menüs Network Remote angezeigt, über das der Zugriff auf die Wi-Fi-Fernbedienung und das Web-Menü dieses Camcorders aktiviert/deaktiviert wird.

Wichtige mit der Camcordersoftware (V2.1) und der Software für die Netzwerkfunktion (V2.12 / V2.15) aktualisierte Funktionen

Hinweise

- Sie müssen die Camcordersoftware und die Software für die Netzwerkfunktion aktualisieren. Aktualisieren Sie zuerst die Camcordersoftware und danach die Software für die Netzwerkfunktion.

- Verwenden Sie die Anwendung Content Browser Mobile V2.0 oder höher.

Mit 5 GHz kompatibles WLAN-Modul CBK-WA02 (gesondert erhältlich)

Wenn das neue WLAN-Modul installiert wird, wird „Auto (5GHz)“ zu „NETWORK SET“ > „Channel“ hinzugefügt. Wenn der Betriebsmodus des WLAN unter „NETWORK SET“ > „Network Mode“ auf „Station“ gesetzt wird, können Sie auf mit 5 GHz kompatible Zugangspunkte zugreifen.

Hinweis

„Auto (5GHz)“ wird je nach dem verwendeten WLAN-Modul möglicherweise nicht angezeigt.

Wird nicht angezeigt, wenn das Modul für ein Land bzw. eine Region bestimmt ist, in dem die Verwendung des 5GHz-Frequenzbereichs im Freien untersagt ist. Stellen Sie sicher, dass das WLAN-Modul in dem Land bzw. der Region der Nutzung unterstützt wird. Einzelheiten dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zum WLAN-Modul.

Verfahren zum Anbringen des WLAN-Moduls (CBK-WA02 (gesondert erhältlich))

1. Öffnen Sie die Abdeckung des Anschlusses für externe Geräte.
2. Bringen Sie den mit dem WLAN-Modul CBK-WA02 (gesondert erhältlich) gelieferten Netzwerkmodul-Erweiterungsadapter (CBK-NA1E) am Camcorder an.
Verbinden Sie den nach außen gewölbten Anschluss mit dem Anschluss für externe Geräte am Camcorder und das WLAN-Modul mit dem nach innen gewölbten Anschluss. Sie können den Adapter an der Schraubenbohrung (1/4 Zoll) der Montagestelle für den Zubehörschuh anbringen.
3. Bringen Sie das WLAN-Modul am Netzwerkmodul-Erweiterungsadapter an.

Hinweis

Schalten Sie den Camcorder zum Anbringen/Abnehmen des WLAN-Moduls aus.

Wichtige in V2.0 aktualisierte Funktionen

Hinweise

- Sie müssen die Camcordersoftware und die Software für die Netzwerkfunktion aktualisieren. Aktualisieren Sie zuerst die Camcordersoftware und danach die Software für die Netzwerkfunktion.
- Wenn die Aktualisierung der Camcordersoftware abgeschlossen ist, erscheint „Version Upgrade/OK: Turn Power Off“. Wenn Sie den Camcorder nicht bedienen, erscheint möglicherweise die Fehlermeldung „E-31001“. Da die Aktualisierung abgeschlossen ist, schalten Sie einfach den Camcorder aus und wieder ein.
- Einzelheiten zu den Verfahren bei zusätzlichen Funktionen finden Sie in „Informationen zu zusätzlichen Funktionen“ (PDF-Datei). Sie können „Informationen zu zusätzlichen Funktionen“ von der Sony-Website herunterladen.

Neue Funktion für hochqualitatives Streaming dank QoS-Technologie von Sony

Wenn der neu entwickelte Netzwerk-Client-Modus zusammen mit der Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 von Sony (gesondert erhältlich) verwendet wird, steht dank der QoS-Technologie von Sony über das LTE/4G-Netzwerk hochqualitatives Streaming zur Verfügung.

- Die Verbindungseinstellung kann unter „NW Client Mode“ > „CCM Address“, „CCM Port“, „User Name“ und „Password“ im Menü NETWORK SET konfiguriert werden.

- Der Netzwerk-Client-Modus lässt sich unter „NW Client Mode“ > „Setting“ im Menü NETWORK SET ein-/ausschalten.
- Wenn der Netzwerk-Client-Modus ausgewählt ist, werden Einstellung und Steuerung für das Streaming über die PWS-100RX1 ausgeführt.
- Im Bildschirm „Device Status“ des in den Camcorder integrierten Web-Menüs können Sie den Status des Netzwerk-Client-Modus anzeigen.

Hinweise

- Wenn in den Netzwerk-Client-Modus umgeschaltet wird, können Streaming, Prüfung, Proxy-Aufzeichnung und Dateiübertragung nicht ausgeführt werden.
- Wenn während der Prüfung, Proxy-Aufzeichnung oder Dateiübertragung in den Netzwerk-Client-Modus umgeschaltet wird, werden diese Funktionen beendet.

Hinweis zum Abrufen der Positionsinformationen (GPS)

Sie können die Positionsinformationen über GPS in den Proxy-Daten aufzeichnen.

Aufzeichnen von Standbildern zu Proxy-Daten

Bei der Proxy-Aufzeichnung wird das erste Vollbild der Proxy-Daten gleichzeitig als Standbild aufgezeichnet.

Anzeigen der Miniaturbilder zu Proxy-Daten

Da das erste Vollbild der Proxy-Daten als Standbild vorliegt, lassen sich die Miniaturbilder zu den Proxy-Daten rasch anzeigen.

Übertragen von Ausschnitten aus Proxy-Daten

Mit der Anwendung Content Browser Mobile V2.0 oder höher können Sie Ausschnitte aus Proxy-Daten übertragen, indem Sie in den Proxy-Daten In- und Out-Punkte setzen und die Proxy-Daten auf diese Weise beschneiden.

Hinweise

- Vor und hinter einem Beschneidungspunkt wird ein Randbereich von maximal 15 Vollbildern an die generierte Datei angehängt.
- Wenn Sie Proxy-Daten beschneiden, die mit der Software für die Netzwerkfunktion V1.32 oder früher aufgezeichnet wurden, lassen sich diese Daten unter Umständen nicht an ein nicht lineares Schnittgerät übertragen.

Setzen von Schlüsselszenenmarkierungen in den aufgezeichneten Daten auf diesem Gerät

Mit der Anwendung Content Browser Mobile V2.0 oder höher können Sie während der Aufzeichnung auf diesem Gerät Schlüsselszenenmarkierungen setzen. Diese werden auch in die Proxy-Daten übernommen. Anhand der Schlüsselszenenmarkierungen können Sie die Beschneidungspunkte in einer Datei mühelos festlegen.

Hinweise

- Dies ist nur möglich, wenn die Proxy-Datei dieselbe Aufnahmedauer aufweist wie die auf diesem Gerät aufgezeichneten Originaldateidaten.
- Wenn die Originaldatei geteilt wird, werden die Schlüsselszenenmarkierungen nicht in die Proxy-Daten übernommen.

Hinweis zum Einstellen von Streaming-Format und Proxy-Format

Wenn in V1.2 (Camcordersoftware) „Bit Rate“ in der Einstellung für das Proxy-Format auf „9Mbps“ eingestellt ist, kann „Bit Rate“ in der Streaming-Einstellung nicht auf einen höheren Wert als „6Mbps“ eingestellt werden. Die Einstellung kann allerdings in V2.0 (Camcordersoftware) vorgenommen werden. Wenn Sie eine Voreinstellung auswählen, bei der „Bit Rate“ auf einen höheren

Wert als „6Mbps“ eingestellt ist, wird „Bit Rate“ in der Streaming-Einstellung nicht automatisch in „3Mbps“ geändert.

Hinweis zur Kontrolle mit Content Browser Mobile

Das Bild des Kontrollvideos wird aufgrund des Signalzustands beim Gebrauch oder aufgrund von Mobilgeräten möglicherweise angehalten.

Geändertes Format für die Kontrolle

Die Einstellung „640×360 (3Mbps)“ für „Size“ steht nicht mehr als Format für die Kontrolle zur Verfügung. Wenn Sie diese Einstellung verwenden, wird „Size“ auf „480×270 (1Mbps)“ gesetzt.

Ändern des Kanals für das WLAN

Die Einstellungen zum Kanal für das WLAN wurden teilweise geändert („Channel“ im Menü NETWORK SET).

Stromversorgung des drahtlosen, am Multi-Interface-Schuh installierten Mikrofons

Ursprünglich konnte der Multi-Interface-Schuh während der Netzwerkfunktion nicht mit Strom versorgt werden. Durch diese Versionsaktualisierung steht jedoch die Stromversorgung des Multi-Interface-Schuhs zur Verfügung, wenn der Camcorder mit dem Akku betrieben wird. Das heißt, Sie können das drahtlose Mikrofon UWP-D11/D12 während der Netzwerkfunktion verwenden.

Änderungen in weiteren Menüs

<Menü LCD/VF SET>

- „NW Client Status“ wurde zu „Display On/Off“ hinzugefügt. Die Statusanzeige für die CCM-Verbindung lässt sich unter „NW Client Mode“ ein-/ausschalten.

<Menü NETWORK SET>

- „6Mbps“ jetzt in „Proxy File“ > „Bit Rate“
- Der Menüname „Wi-Fi Remote“ wurde in „Network Remote“ geändert. Wenn „Wired LAN“ unter „Network Mode“ im Menü NETWORK SET eingestellt ist, kann über den geänderten Menünamen auf das Web-Menü des Geräts und die Wi-Fi-Fernbedienung zugegriffen werden.

<Menü OTHERS>

- „NW Client Mode“ wurde zu „Assign Button“ > „<1>“ bis „<5>“ hinzugefügt. Sie können auch „NW Client Mode“ einer frei belegbaren Funktionstaste zuweisen.

Wichtige in V1.2 aktualisierte Funktionen

Hinweis

Die Netzwerkfunktionen werden erweitert, so dass sich Menüebenen und Namen für Optionen ändern. Einzelheiten dazu finden Sie im neuesten Handbuch (PDF).

Simultanaufzeichnung in den 2 SxS-Einschüben

Die Simultanaufzeichnung in den 2 SxS-Einschüben wird unterstützt.

- Die Funktion kann unter > „Simul Rec“ im Menü CAMERA SET ein- bzw. ausgeschaltet werden.

Hinweise

- Die Simultanaufzeichnung kann im exFAT/HD-Modus nur mit den folgenden Formaten verwendet werden.
XAVC-I
XAVC-L50
XAVC-L35
XAVC-L25
- Verwenden Sie für die Simultanaufzeichnung Speicherkarten desselben Typs und derselben Größe.

- Die Simultanaufzeichnung kann nicht gleichzeitig zusammen mit den folgenden Funktionen verwendet werden:

Einzelbildaufzeichnung
Kontinuierliche Clipaufzeichnung
Aufzeichnung mit Bildpuffer
Zeitleupe und Zeitraffer
Intervallaufzeichnung
Proxy-Aufzeichnung
Netzwerkverbindungen (wenn „Network&Proxy“ unter „NW&Proxy/USB“ im Menü NETWORK SET eingestellt ist.)
Streaming

Streaming-Funktion

Die Funktion zum Streamen eines Live-Videos vom Camcorder über das Internet oder ein lokales Netzwerk wurde hinzugefügt.

- Die Funktion kann unter „Streaming“ > „Setting“ im Menü NETWORK SET ein- bzw. ausgeschaltet werden und ein voreingestellter Wert kann in „Preset Select“ ausgewählt werden.
- Voreingestellte Werte usw. können über „Streaming Edit“ im Menü NETWORK SET bearbeitet werden.

Hinweise

Wenn „Bit Rate“ für das Proxy-Aufnahmeformat auf „9Mbps“ gesetzt ist.

- „Bit Rate“ kann für die Streaming-Einstellung nicht auf „6Mbps“ oder höher gesetzt werden.
- Wenn Sie einen voreingestellten Wert auswählen, bei dem „Bit Rate“ für das Streaming auf „6Mbps“ oder mehr eingestellt ist, wird „Bit Rate“ für das Streaming automatisch in „3Mbps“ geändert.

Kompatibel mit LTE-Modem/verkabeltem LAN

Die Netzwerkverbindung ist verfügbar, wenn Sie den mit dem optionalen Netzwerkadapterkit CBK-NA1 gelieferten Netzwerkmodul-Erweiterungsadapter und das optionale 3G/4G/LTE-Modem am Anschluss für externe Geräte anbringen. Außerdem wird ein mit dem optionalen Netzwerkadapterkit CBK-NA1 gelieferter USB-RJ45-Adapter unterstützt, so dass die Netzwerkverbindung über ein Netzkabel zur Verfügung steht.

- Ein 3G/4G/LTE-Modem kann verwendet werden, wenn „Modem“ unter „Network Mode“ im Menü NETWORK SET ausgewählt wird.
- Ein verkabeltes LAN kann unter „Wired LAN Set“ im Menü NETWORK SET eingestellt werden.

Hinweise

- Informationen über kompatible Modems erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler oder einem Sony-Kundendienstmitarbeiter.
- Wenn „Bit Rate“ für das Streaming auf „9Mbps“ oder „6Mbps“ gesetzt ist, setzen Sie „Bit Rate“ für das Proxy-Aufzeichnungsformat zuvor auf einen anderen Wert als „9Mbps“.

GPS-Funktion

Das integrierte GPS-Modul kann aktiviert werden.

Die Funktion kann unter „GPS“ im Menü OTHERS ein- bzw. ausgeschaltet werden.

Kompatibel mit Multi-Interface-Schuh

Mit dem Multi-Interface-Schuh kompatibles Zubehör kann mit dem Zubehörschuh an der Vorderseite verwendet werden.

- Ein mit dem Multi-Interface-Schuh kompatibles Mikrofon kann verwendet werden, wenn „CH1 EXT Input“ und „CH2 EXT Input“ unter „Audio Input“ im Menü AUDIO SET auf „SHOE MIC“ gesetzt werden.

- Wenn eine mit dem Multi-Interface-Schuh kompatible Videoleuchte verwendet wird, können Sie unter „Video light Set“ im Menü CAMERA SET auswählen, wie das Ein-/Ausschalten der Leuchte mit dem Betrieb des Camcorders verknüpft wird.

Hinweis

Informationen zu Zubehör, das mit dem Multi-Interface-Schuh kompatibel ist, erhalten Sie bei Ihrem Händler.

Kompatibel mit 3G-SDI Level A

3G-SDI Level A-Ausgangssignale sind zusätzlich zu Level B verfügbar.

- „Level A“ oder „Level B“ kann unter „3G SDI OUT Level A/B“ im Menü VIDEO SET ausgewählt werden.

Italiano

Nota di rilascio

Funzioni principali aggiornate con il software della videocamera (V2.5) e il software della funzione di rete (V3.12)

Impostazione del punto di accesso per la modalità Stazione

È possibile collegarsi al punto di accesso desiderato dal menu di impostazione.

È possibile definire l'impostazione di connessione in "NETWORK SET" > "Station Set".

Nota

Per definire l'impostazione di connessione in "NETWORK SET" > "Station Set", selezionare "Station" in "NETWORK SET" > "Network Mode".

Impostazioni multiple per il punto di accesso in modalità client di rete

Per la modalità client di rete, è possibile configurare fino a tre impostazioni del punto di accesso.

- La selezione di un preset è disponibile in "NETWORK SET" > "NW Client Mode" > "Preset Select".
- La modifica di un preset è disponibile in "NETWORK SET" > "NW Client Edit".

Funzione di abilitazione/disabilitazione della registrazione proxy

La funzione di abilitazione/disabilitazione della registrazione proxy è stata aggiunta nella funzione assegnabile.

È possibile attivare la funzione di abilitazione/disabilitazione della registrazione proxy premendo il pulsante assegnabile assegnato con Proxy.

Nota

Per abilitare la funzione, impostare su "Network&Proxy" in "NETWORK SET" > "NW&Proxy/USB".

Trasferimento automatizzato del file proxy

È stata aggiunta una funzione per trasferire automaticamente il file proxy al server predefinito impostato in "Upload Settings" quando la registrazione proxy è terminata mentre è attiva la connessione a Internet.

È possibile impostare la funzione in "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Auto Upload".

Nota

Impostare il server da trasferire nel menu Web o "Upload Settings" dell'applicazione "Content Browser Mobile" in anticipo.

Funzioni principali aggiornate con il software della videocamera (V2.4) e il software della funzione di rete (V3.02)

Compatibile con XDCAM air

XDCAM air è un servizio cloud fornito da Sony.

Per utilizzare questo servizio, è richiesta la registrazione.

XDCAM air non viene fornito in alcune regioni. Per maggiori informazioni sulle aree in cui viene fornito in servizio, fare riferimento al seguente sito.

<https://www.xdcam-air.com>

Per maggiori informazioni, contattare un rappresentante vendite Sony professionale.

È possibile trasferire i file con la funzione di trasmissione streaming ad alta qualità quando ci si collega al Connection Control Manager (CCM) di XDCAM air.

- Immettere l'URL di XDCAM air in "NETWORK SET" > "NW Client Mode" > "CCM Address".

La modalità client di rete viene attivata e la videocamera connessa a XDCAM air.

- Dopo aver completato la connessione, viene avviata la trasmissione del video live agendo su XDCAM air.

Per ulteriori informazioni, consultare la guida in linea di XDCAM air.

Nota

Quando si immette "User Name" e "Password", viene visualizzato il simbolo dello yen (¥) invece della barra rovesciata (\) su questa videocamera.

Aggiunta della voce al menu di impostazione

"OSS Information" è aggiunto al menu di impostazione visualizzato toccando  nell'angolo superiore sinistro della schermata del menu Web.

Nota

"OSS Information" è spostato da "Device Status".

Avvio automatico del trasferimento file dopo la registrazione

Quando "Auto upload" è impostato su "On" nel menu Web, il file memorizzato in una scheda SD viene trasferito automaticamente dopo la registrazione. Quando la videocamera registra il file proxy che eredita le informazioni e la durata della registrazione dell'originale basato sui metadati di pianificazione, viene creata una cartella in base alle informazioni del tag <Title> nei metadati di pianificazione e il file viene trasferito in tale cartella. Inoltre, il file dei metadati di pianificazione viene trasferito dopo l'aggiunta dell'ID dei supporti al nome di file.

Aggiunta di un messaggio di errore all'Indicazione di errore/avvertenza

Vengono aggiunte le voci seguenti come messaggio di errore visualizzato sulla schermata "Device Status" se la videocamera rileva un errore sul dispositivo collegato tramite LAN wireless.

Tipo	ID errore/avvertenza	Descrizione
Comunicazione	E03-008	Errore di certificazione

Funzioni principali aggiornate con il software della videocamera (V2.3) e il software della funzione di rete (V2.42)

Note

- È richiesto aggiornare il software della videocamera e il software della funzione di rete. Aggiornare prima il software della videocamera, quindi il software della funzione di rete.
- Quando l'aggiornamento del software della videocamera è completato, viene visualizzato "Version Upgrade/OK: Turn Power Off". Se si lascia così, può comparire il messaggio di errore "E-31001". Poiché l'aggiornamento è completato, spegnere e riaccendere semplicemente la videocamera.
- Utilizzare l'applicazione Content Browser Mobile V2.3 o successiva.
- Per ulteriori dettagli, consultare le istruzioni di funzionamento più aggiornate (file PDF). È possibile scaricare le istruzioni di funzionamento più aggiornate (file PDF) dal sito Web di Sony.

Aggiunta dei menu per il salvataggio dei file

- Le voci di impostazione e i dati di impostazione si possono salvare o richiamare per mezzo della memoria SxS/USB sotto forma di file Utente. Queste funzioni si trovano in "OTHERS" > "User Data."
- Il profilo immagine può essere salvato o richiamato da una flash drive USB. Queste funzioni si trovano in "PICTURE PROFILE SET" > "PP Data."
- Si possono salvare fino a 64 file di impostazione, file Utente e profili immagine.
- È possibile assegnare un nome ai file di impostazione e ai file Utente salvati.
 - "Camera Data" > "File ID"
 - "User Data" > "File ID"

Aggiunta della schermata di stato RECENT FILES

La schermata di stato mostra le informazioni sugli ultimi file (fino a 9) che sono stati caricati nell'elenco, in base alla sequenza di caricamento.

All'interno della schermata di stato RECENT FILES è possibile visualizzare l'elenco contenente fino a 9 file di informazioni sui file (fino a 3 per ciascuno dei file di impostazione, dei file Utente e dei profili immagine).

Si visualizzano il giorno e l'ora in cui il file è stato caricato, il tipo di file, il tipo di supporto e il nome del file.

Registrazione del menu di personalizzazione dei file nel menu USER

Le voci del menu per salvare o richiamare i file di impostazione, i file Utente e i profili immagine sono registrate nel menu USER.

Le impostazioni di assegnazione sono disattivate mentre il menu è bloccato

Se una voce di menu che non è stata registrata nel menu USER viene assegnata a una funzione assegnabile mentre il menu è bloccato, le impostazioni di assegnazione sono disattivate. Tale funzione serve a non modificare le impostazioni del menu rispetto al menu USER.

Note

- Se il menu è bloccato mentre le voci di menu del menu di impostazione elencato di seguito non sono registrate nel menu USER, la funzione della voce di menu non può essere assegnata ai tasti programmabili.

Voci di menu del menu di impostazione	Voci di menu che è possibile assegnare ai tasti programmabili
CAMERA SET > Handle Zoom	Handle Zoom
CAMERA SET > Clip Cont.Rec > Setting	Clip Continuous Rec
CAMERA SET > P.Cache Rec > Setting	Picture Cache
CAMERA SET > TLCS > Mode	Spotlight
	Backlight
LCD/VF SET > Zebra > Setting	Zebra
LCD/VF SET > Peaking > Setting	Peaking
LCD/VF SET > Marker > Setting	Marker
LCD/VF SET > EVF > Mode	VF Mode
LCD/VF SET > Display On/Off > Brightness Display	BRT Disp
LCD/VF SET > Display On/Off > Histogram Display	Histogram
LCD/VF SET > Display On/Off > Lens Info	Lens Info
NETWORK SET > NW Client Mode > Setting	NW Client Mode

Se le funzioni elencate sopra sono assegnate ai tasti programmabili, le impostazioni assegnabili vengono disattivate automaticamente quando il menu è bloccato.

- Se il menu è bloccato mentre "SEL" del menu PICTURE PROFILE non è registrato nel menu USER, la selezione tramite menu diretto è disattivata.

Funzione di commutazione della temperatura di colore per il bilanciamento del bianco

Il numero delle voci di impostazione della temperatura di colore del bianco preimpostato aumenta a 4. È possibile commutare tra 4 impostazioni della temperatura di colore con la funzione assegnabile, impostando la temperatura di colore in anticipo.

- È possibile selezionare le impostazioni della temperatura di colore tra 4 impostazioni in "PICTURE PROFILE SET" > "White" > "Preset White Sel."
- È possibile impostare la temperatura di colore delle impostazioni della temperatura di colore selezionate in "Preset White Sel."
- È possibile commutare la temperatura di colore con il pulsante assegnabile, impostando "WB Preset" su "Assign Button" <1> su <5>.

Note

Questa funzione è disponibile quando il bilanciamento del bianco si trova in modalità preimpostata.

Aggiunta del formato di registrazione proxy

Come formato di registrazione proxy si può selezionare "HD/SD Auto".

È possibile selezionarlo in "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Size."

Note

- Se durante la selezione "HD/SD Auto" la videocamera si trova in modalità client di rete, la registrazione proxy è disattivata. Anche se "NCM with Proxy" è impostato su "Enable," la registrazione proxy è disattivata.
- Se "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Size" è impostato su "HD/SD Auto" mentre "OTHERS" > "System" > "Format" è impostato su "1080/23,98P" e "VIDEO SET" > "23,98P Output" è impostato su "23,98PsF," la registrazione proxy è disattivata.

- Se si seleziona "HD/SD Auto," la dimensione viene impostata in base alle impostazioni del formato di registrazione memorizzato nella scheda di memoria SxS o del formato della clip da riprodurre.
- Il file proxy file registrato con "HD/SD Auto" potrebbe non essere riprodotto con il programma di navigazione e con Content Browser Mobile. Per riprodurlo, inserire la scheda SD con il file proxy registrato direttamente sul computer.

Aggiunta del formato streaming

Si può selezionare un formato avente un bit rate minore. È possibile selezionarlo in "NETWORK SET" > "Streaming Edit" > "Bit Rate."

- Per "Size" > 480 × 270:
0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)/0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)
- Per "Size" > 320 × 180:
0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

Nota

In queste condizioni, il framerate video è 10fps, la frequenza di campionamento audio è 48 kHz e il bitrate audio è 56 kbps per il Mono.

Impostazione del canale audio della registrazione proxy

Il canale audio della registrazione proxy può essere impostato nel menu di configurazione.

È possibile selezionarlo in "NETWORK SET" > "Proxy File" > "Audio Channel."

Impostazione del canale audio dello streaming

Il canale audio dello streaming può essere impostato nel menu di configurazione.

È possibile selezionarlo in "NETWORK SET" > "Streaming" > "Audio Channel."

Aumento della durata di registrazione del supporto SxS

La durata massima di registrazione del supporto SxS per registrare più clip è stata aumentata.

Funzioni principali aggiornate con il software della videocamera (V2.2) e il software della funzione di rete (V2.32)

Nota

- È richiesto aggiornare il software della videocamera e il software della funzione di rete. Aggiornare prima il software della videocamera, quindi il software della funzione di rete.
- Quando l'aggiornamento del software della videocamera è completato, viene visualizzato "Version Upgrade/OK: Turn Power Off". Se si lascia così, può comparire il messaggio di errore "E-31001". Poiché l'aggiornamento è completato, spegnere e riaccendere semplicemente la videocamera.
- Utilizzare l'applicazione Content Browser Mobile V2.2 o successiva.
- Per ulteriori dettagli, consultare le istruzioni di funzionamento più aggiornate (file PDF). È possibile scaricare le istruzioni di funzionamento più aggiornate (file PDF) dal sito Web di Sony.

Aggiunta del menu USER

Il menu USER è nuovo ed è possibile registrare voci di utilizzo frequente nei menu CAMERA SET, AUDIO SET, VIDEO SET, LCD/VF SET, TC/UB SET, NETWORK SET, OTHERS o PICTURE PROFILE nel menu USER. È possibile eseguire la registrazione nel menu USER MENU CUSTOMIZE.

Aggiunta della funzione di blocco del menu

È stata aggiunta la funzione per il blocco del menu Setup e per visualizzare solo il menu USER.

- Premere contemporaneamente il comando jog e il pulsante MENU per visualizzare il menu Setup e immettere la password in User Menu with Lock>On per bloccare la visualizzazione del menu e visualizzare il solo menu USER.
Tale funzione è utile quando non si desidera modificare impostazioni del menu differenti da quelle nel menu USER.
- Per rilasciare il blocco e visualizzare nuovamente tutti i menu, premere contemporaneamente il comando jog e il pulsante MENU per visualizzare il menu Setup, quindi digitare la stessa password immessa per User Menu with Lock>Off.

Nota

Si consiglia di conservare la password per riferimento futuro. Se si è scordata la password, contattare un rappresentante Sony.

Supporta la scheda SDXC

Registrazione del file originale

Utilizzando un adattatore per supporti MEAD-SD02 opzionale, sarà possibile registrare e riprodurre una scheda SDXC.

Le schede SDXC possono solo essere utilizzate in modalità exFAT. Scheda SDXC (SD Classe di velocità: 10)

Nota

- Quando si utilizza una scheda SDXC con questa unità, formattarla utilizzando la funzione di formattazione dell'unità (OTHERS>Format Media>Media(A) o Media(B)).
- Non è possibile ottenere correttamente la riproduzione ad alta velocità con una scheda SDXC.
- Quando si utilizza una scheda SDXC, non utilizzare contemporaneamente altri tipi di scheda. Se si utilizzano contemporaneamente altri tipi di supporto, il passaggio ad un altro supporto non può essere eseguito quando tale supporto non dispone di spazio disponibile per la registrazione.
- La registrazione nel formato XAVC-I o la registrazione in modalità rallentatore e movimento rapido potrebbe non essere eseguita correttamente in funzione della scheda SDXC utilizzata. Si consiglia una scheda di memoria SxS PRO o SxS PRO+.
- Una scheda SDXC registrata con una videocamera serie PMW e PXW potrebbe non essere utilizzabile per registrazione e riproduzione con questa unità, in funzione del tipo di unità utilizzata. Per ulteriori informazioni, contattare il proprio rivenditore Sony o un rappresentante Sony.

Registrazione del file proxy

Ai supporti in grado registrare proxy è stata aggiunta una scheda SDXC.

Scheda SDXC (SD Classe di velocità: superiore a 4)

Nota

- Quando si utilizza una scheda SDXC con questa unità, formattarla utilizzando la funzione di formattazione dell'unità (NETWORK SET>Proxy File>Format SD Card).
- Questa videocamera formatta la scheda SDXC come exFAT.

Aggiunta del formato per il supporto della registrazione simultanea nei 2 alloggiamenti

È stato aggiunto il formato che supporta la registrazione simultanea utilizzando 2 alloggiamenti SxS.

Sono stati aggiunti i formati seguenti:

- Quando uno dei seguenti formati per la modalità exFAT/HD è impostato in "System" del menu OTHERS
—MPEG2 HD422
—MPEG2 HD420HQ
- Quando uno dei seguenti formati per la modalità UDF/HD è impostato in "System" del menu OTHERS
—MPEG2 HD422

–MPEG2 HD420HQ

Nota

Quando si utilizza la registrazione simultanea in 2 alloggiamenti, utilizzare schede di memoria dello stesso tipo e dimensioni.

Aggiunta della funzione di registrazione proxy nella modalità client di rete

La funzione di registrazione proxy nella modalità client di rete è aggiunta quando la stazione RX di rete Sony PWS-100RX1 (opzionale) è connessa.

- Per eseguire la registrazione proxy quando la modalità client di rete è abilitata, attenersi alle impostazioni seguenti.
 - CAMERA SET>Proxy>On
 - NETWORK SET>NW Client Mode>NCM with Proxy>Enable

Nota

- La velocità in bit dello streaming impostabile sulla stazione RX di rete PWS-100RX1 è limitata in funzione del formato di registrazione proxy.
 - Quando il formato di registrazione proxy è 1280 × 720 9Mbps/6Mbps: la velocità in bit dello streaming è 1Mbps o inferiore a Very Low.
 - Quando il formato di registrazione proxy è 640 × 360 3Mbps o inferiore: la velocità in bit dello streaming è 3Mbps o inferiore a Low.
- Il formato proxy non può essere modificato quando la modalità client di rete è attiva. Per modificare il formato proxy, disattivare la modalità client di rete.

Aggiunta della funzione di trasferimento file nella modalità client di rete

È possibile trasferire i file al server impostato su CCM collegando l'unità al CCM della stazione RX di rete PWS-100RX1 (opzionale) in modalità client di rete.

Nota

- La modalità client di rete non può eseguire il trasferimento di file durante lo streaming.
- Il trasferimento di file si arresta se si avvia lo streaming in modalità client di rete durante il trasferimento. Il trasferimento di file riprende se si arresta lo streaming.

Trasferimento parziale di un file originale registrato su questo apparecchio

Utilizzando l'applicazione "Content Browser Mobile", è possibile trasferire un ritaglio di un file specificando opportuni punti IN e OUT nel file originale registrato da questo apparecchio. È possibile inoltre trasferire ritagli di più file utilizzando lo Storyboard.

Utilizzare la versione più recente dell'applicazione "Content Browser Mobile".

- I formati compatibili per il file originale sono i seguenti:
 - Modalità exFAT: XAVC-I/XAVC-L50, 35, 25/MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ
 - Modalità UDF: MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ

Nota

- Per trasferire parzialmente il file originale tramite "Content Browser Mobile", registrare il file proxy con lo stesso nome del file originale con le impostazioni seguenti.
 - Impostare "Proxy" nel menu CAMERA SET su "On".
 - Impostare "Match Clip Name" nel menu VIDEO SET su "On".
 - Impostare "NCM with Proxy" in "NW Client Mode" nel menu NETWORK SET su "Enable" quando il client di rete è attivato.
- Durante il trasferimento parziale del file originale, non è possibile eseguire le operazioni seguenti.

–Operazioni sui clip

–Formattazione supporti

–Connessione al PC tramite USB

- Mentre si trasferisce parzialmente il file originale, il tempo per la memorizzazione delle immagini nella memoria cache immagini della modalità registrazione cache immagini sarà inferiore al tempo impostato da "Rec Time" in "P.Cache Rec" del menu CAMERA SET.

Aggiunta del display di stato dell'impostazione telecomando Wi-Fi

È stato aggiunto il display di impostazione del menu Network Remote che attiva/disattiva l'accesso al telecomando Wi-Fi e al menu Web di questa videocamera sulla schermata di stato Button/Remote.

Funzioni principali aggiornate con il software della videocamera (V2.1) e il software della funzione di rete (V2.12 / V2.15)

Nota

- È richiesto aggiornare il software della videocamera e il software della funzione di rete. Aggiornare prima il software della videocamera, quindi il software della funzione di rete.
- Utilizzare l'applicazione Content Browser Mobile V2.0 o successiva.

Modulo LAN wireless compatibile (venduto a parte) CBK-WA02 5GHz

Quando è installato il nuovo modulo LAN wireless, "Auto (5GHz)" è aggiunto in "NETWORK SET">"Channel". Quando la modalità di funzionamento della LAN wireless è impostata su "Station" in "NETWORK SET">"Network Mode", è possibile accedere ai punti di accesso 5GHz compatibili.

Nota

"Auto (5GHz)" potrebbe non essere visualizzato in base al modulo LAN wireless utilizzato.

Non visualizzato se il modulo è per il paese/regione che vieta l'uso della banda 5GHz all'esterno. Verificare che il modulo LAN wireless sia supportato nel paese/regione di impiego. Per informazioni, consultare il manuale per l'uso del modulo LAN wireless.

Metodo di collegamento del modulo LAN wireless (CBK-WA02 (venduto a parte))

1. Aprire il coperchio del connettore del dispositivo esterno.
2. Fissare l'adattatore di prolunga per modulo di rete (CBK-NA1E), fornito con il modulo LAN wireless CBK-WA02 (venduto a parte), alla videocamera. Collegare il terminale convesso al connettore per il dispositivo esterno della videocamera e collegare il modulo LAN wireless al terminale concavo. È possibile collegare l'adattatore al foro per viti (0,64 cm) dell'attacco per slitta portaccessori.
3. Fissare il modulo LAN all'adattatore di prolunga per modulo di rete.

Nota

Fissare/rimuovere il modulo LAN wireless quando la videocamera è spenta.

Funzioni principali aggiornate con V2.0

Nota

- È richiesto aggiornare il software della videocamera e il software della funzione di rete. Aggiornare prima il software della videocamera, quindi il software della funzione di rete.

- Quando l'aggiornamento del software della videocamera è completato, viene visualizzato "Version Upgrade/OK: Turn Power Off". Se si lascia così, può comparire il messaggio di errore "E-31001". Poiché l'aggiornamento è completato, spegnere e riaccendere semplicemente la videocamera.
- Per informazioni sui metodi di funzionamento relativi alle funzioni aggiuntive, consultare "Informazioni sulle funzioni aggiuntive" (file PDF). È possibile scaricare "Informazioni sulle funzioni aggiuntive" dal sito Web di Sony.

Aggiunta della funzione per lo streaming ad alta qualità con tecnologia QoS Sony

Con la nuova modalità client di rete disponibile, quando utilizzata con la stazione RX di rete Sony PWS-100RX1 (venduta a parte), lo streaming ad alta qualità è supportato dalla tecnologia QoS Sony tramite rete LTE/4G.

- L'impostazione di connessione può essere definita in "NW Client Mode" > "CCM Address", "CCM Port", "User Name", "Password" del menu NETWORK SET.
- La modalità client di rete può essere attivata/disattivata in "NW Client Mode" > "Setting" nel menu NETWORK SET.
- Quando è selezionata la modalità client di rete, impostazione e controllo relativi allo streaming vengono eseguiti tramite PWS-100RX1.
- Nella schermata Device Status del menu Web integrato della videocamera, è possibile confermare lo stato della modalità client di rete.

Note

- Se commutata sulla modalità client di rete, non è possibile eseguire streaming, monitoraggio, registrazione proxy o trasferimento file.
- Se commutata sulla modalità client di rete durante monitoraggio, registrazione proxy o trasferimento file, queste operazioni si arrestano.

Informazioni sull'acquisizione delle informazioni di posizione (GPS)

È possibile registrare le informazioni sulla posizione nei dati proxy tramite GPS.

Registrazione delle immagini fisse dei dati proxy

Quando si esegue la registrazione proxy, viene registrata contemporaneamente l'immagine fissa del primo fotogramma dei dati proxy.

Visualizzazione delle miniature dei dati proxy

È possibile visualizzare rapidamente le miniature dei dati proxy mediante l'immagine fissa del primo fotogramma.

Trasferimento parziale dei dati proxy

Quando si utilizza l'applicazione Content Browser Mobile V2.0 o successive, è possibile trasferire i dati parziali ritagliati specificando il punto di ingresso e di uscita dai dati proxy.

Note

- Il margine massimo da 15 fotogrammi è allegato davanti e dietro il punto ritagliato in un file generato.
- Quando si ritagliano i dati proxy registrati con il software della funzione di rete V1.32 o precedenti, i dati potrebbero non venire portati nell'editor non lineare.

Collegamento delle tracce di identificazione ai dati registrati di questa unità

Quando si utilizza l'applicazione Content Browser Mobile V2.0 o successive, è possibile fissare le tracce di identificazione mentre si registra su questa unità, che vengono applicate anche ai dati proxy. È possibile impostare la posizione di ritaglio di un file

utilizzando semplicemente le informazioni di tale traccia di identificazione.

Note

- Abilitato solo per il file proxy con la stessa durata di registrazione che segue le informazioni originali sul file registrate in questa unità.
- Quando si divide il file originale, le tracce di identificazione non vengono applicate ai dati proxy.

Informazioni sulle impostazioni del formato streaming e del formato proxy

Quando "Bit Rate" nell'impostazione del formato proxy è impostato a "9Mbps" in V1.2 (software della videocamera), il "Bit Rate" dell'impostazione streaming non può superare "6Mbps". Tuttavia, tale impostazione può essere effettuata in V2.0 (software della videocamera). Se si seleziona il preset il cui "Bit Rate" è impostato ad un valore superiore a "6Mbps", il "Bit Rate" non viene automaticamente ridotto a "3Mbps".

Informazioni sul monitoraggio di Content Browser Mobile

Il monitoraggio dell'immagine video potrebbe bloccarsi a causa delle condizioni del segnale quando utilizzato su dispositivi mobili.

Formato di monitoraggio modificato

"640×360 (3Mbps)" per "Size" è stato eliminato dal formato di monitoraggio. Se si utilizza questa impostazione, "Size" è impostato a "480×270 (1Mbps)".

Modifica del canale LAN wireless

L'impostazione del canale LAN wireless viene modificata parzialmente ("Channel" nel menu NETWORK SET).

Alimentazione del microfono wireless installato sull'attacco multi-interfaccia

In origine, non era possibile fornire l'alimentazione all'attacco multi-interfaccia mentre si utilizzava la funzione di rete. A seguito di questo aggiornamento di versione, è possibile alimentare l'attacco multi-interfaccia quando la videocamera è alimentata a batteria. Quindi, è possibile utilizzare il microfono wireless UWP-D11/D12 quando si utilizza la funzione di rete.

Modifica di altri menu

<Menu LCD/VF SET>

- "NW Client Status" è aggiunto a "Display On/Off".

La visualizzazione dello stato della connessione sul CCM si attiva/disattiva in "NW Client Mode".

<Menu NETWORK SET>

- "6Mbps" è aggiunto a "Proxy File" > "Bit Rate"
- Il nome del menu "Wi-Fi Remote" è stato modificato in "Network Remote".

Nel modificare il nome di menu, quando "Wired LAN" è impostato in "Network Mode" del menu NETWORK SET, accedere al menu Web dell'unità per poter utilizzare il telecomando Wi-Fi.

<Menu OTHERS>

- "NW Client Mode" è aggiunto a "Assign Button" > "<1>" - "<5>". È inoltre possibile assegnare la funzione "NW Client Mode" al pulsante programmabile.

Funzioni principali aggiornate con V1.2

Nota

Le funzioni di rete sono estese, quindi nomi di voci e livelli di menu sono cambiati. Per informazioni, consultare il manuale più recente (PDF).

Registrazione simultanea nei 2 alloggiamenti

È supportata la registrazione simultanea tramite 2 alloggiamenti SxS.

- La funzione può essere attivata/disattivata in > “Simul Rec” nel menu CAMERA SET.

Note

- La registrazione simultanea può essere utilizzata solo con i formati seguenti nella modalità exFAT/HD.
XAVC-I
XAVC-L50
XAVC-L35
XAVC-L25
- Quando si utilizza la registrazione simultanea, utilizzare schede di memoria dello stesso tipo e dimensione.
- Non è possibile utilizzare la registrazione simultanea contemporaneamente con le seguenti funzioni:
Registrazione per fotogrammi
Registrazione clip continua
Registrazione delle immagini nella memoria cache
Rallentatore e movimento rapido
Registrazione a intervalli
Registrazione proxy
Connessioni di rete (quando “Network&Proxy” è impostato in “NW&Proxy/USB” del menu NETWORK SET.)
Streaming

Funzione streaming

È stata aggiunta la funzione per eseguire lo streaming di un video live della videocamera su Internet o rete locale.

- È possibile attivare/disattivare la funzione in “Streaming” > “Setting” del menu NETWORK SET ed è possibile selezionare un preset in “Preset Select”.
- La modifica del preset ecc. è disponibile in “Streaming Edit” del menu NETWORK SET.

Note

Quando “Bit Rate” per il formato di registrazione proxy è impostato su “9Mbps”.

- “Bit Rate” per l'impostazione di streaming non può essere configurato su “6Mbps” o più.
- Se si seleziona un preset con “Bit Rate” impostato su “6Mbps” o più, “Bit Rate” per lo streaming passa automaticamente a “3Mbps”.

Compatibile con modem LTE/LAN cablata

La connessione di rete è disponibile collegando l'adattatore di estensione del modulo di rete in dotazione con il kit adattatore di rete opzionale CBK-NA1 e il modem opzionale 3G/4G/LTE al connettore per dispositivo esterno. Inoltre, è supportato un adattatore USB-RJ45 in dotazione con il kit adattatore di rete opzionale CBK-NA1 in modo che la connessione di rete sia disponibile utilizzando un cavo di rete.

- È possibile utilizzare un modem 3G/4G/LTE selezionando “Modem” in “Network Mode” del menu NETWORK SET.
- È possibile configurare una LAN cablata in “Wired LAN Set” del menu NETWORK SET.

Note

- Per i modem compatibili, rivolgersi al proprio rivenditore Sony o a un rappresentante Sony.
- Quando “Bit Rate” per lo streaming è impostato su “9Mbps” o “6Mbps”, impostare anticipatamente “Bit Rate” per il formato di registrazione proxy su opzioni diverse da “9Mbps”.

Funzione GPS

È possibile abilitare il modulo GPS integrato.

La funzione può essere attivata/disattivata in “GPS” del menu OTHERS.

Compatibile con l'attacco multi-interfaccia

È possibile utilizzare un accessorio compatibile con l'attacco multi-interfaccia con l'attacco per accessori sulla parte anteriore.

- È possibile utilizzare un microfono compatibile con l'attacco multi-interfaccia impostando “CH1 EXT Input” e “CH2 EXT Input” su “SHOE MIC” in “Audio Input” del menu AUDIO SET.
- Quando si utilizza la luce video compatibile con l'attacco multi-interfaccia, è possibile selezionare il metodo di controllo per accendere/spegnere la luce collegata alla videocamera in “Video light Set” del menu CAMERA SET.

Nota

Per gli accessori compatibili con l'attacco multi-interfaccia, rivolgersi al proprio rivenditore.

Compatibile con 3G-SDI Level A

L'uscita 3G-SDI Level A è disponibile oltre a quella di Level B.

- “Level A” o “Level B” può essere selezionato in “3G SDI OUT Level A/B” del menu VIDEO SET.

Español

Nota de la versión

Principales funciones actualizadas con el software de la videocámara (V2.5) y el software de la función de red (V3.12)

Configuración de punto de acceso para el modo Emisora

Puede conectar con el punto de acceso que desee utilizando el menú de configuración.

Los ajustes de conexión pueden definirse en “CONF. RED” > “Conj. emisoras”.

Nota

Para definir el ajuste de conexión de “CONF. RED” > “Conj. emisoras”, seleccione “Emisora” en “CONF. RED” > “Modo Red”.

Múltiples ajustes para el punto de acceso en el modo cliente de red

Es posible definir hasta tres ajustes de punto de acceso para el modo cliente de red.

- La selección de un preajuste está disponible en “CONF. RED” > “Modo cl. Red” > “Sel. predet.”.
- La edición de un preajuste está disponible en “CONF. RED” > “Editar cl. red”.

Función de activación/desactivación de grabación de proxy

La función de activación/desactivación de grabación de proxy se ha añadido como ajuste asignable.

Puede activar o desactivar la grabación de proxy pulsando el botón asignable asignado al proxy.

Nota

Para activar la función, ajuste “Red&Proxy” en “CONF. RED” > “Red&Proxy/USB”.

Transferencia automatizada de archivo de proxy

Se ha añadido una función para transferir automáticamente el archivo de proxy al servidor predeterminado definido en “Upload Settings” cuando finaliza la grabación de proxy mientras está conectado a Internet.

Puede definir la función en “CONF. RED” > “Archivo proxy” > “Carga automática”.

Nota

Configure primero el servidor de transferencia en el menú online o en la opción "Upload Settings" de la aplicación "Content Browser Mobile".

Principales funciones actualizadas con el software de la videocámara (V2.4) y el software de la función de red (V3.02)

Compatible con XDCAM air

XDCAM air es un servicio en la nube prestado por Sony. Para utilizar este servicio, es necesario registrarse. XDCAM air no está disponible en algunas regiones. Para obtener más información sobre las zonas en las que el servicio está disponible, visite el sitio web indicado a continuación. <https://www.xdcam-air.com> Si desea más información, póngase en contacto con un comercial de productos profesionales de Sony.

Puede transferir archivos con la función de transmisión de streaming de alta calidad cuando se conecte al Connection Control Manager (CCM) de XDCAM air.

- Introduzca la dirección URL de XDCAM air en "CONF. RED" > "Modo cl. Red" > "Direc. CCM". El modo Cliente en red se activará y la videocámara se conectará a XDCAM air.
- Tras completarse la conexión, se iniciará la transmisión de vídeo en directo con XDCAM air. Para obtener más información, consulte la ayuda en línea de XDCAM air.

Nota

En esta videocámara si introduce "Nom usar" y "Contras", se mostrará el símbolo de yen (¥) en vez de una barra diagonal inversa (\).

Adición de un elemento en el menú de configuración

En el menú de configuración se añade "OSS Information", que podrá ver con solo tocar  en la parte superior izquierda de la pantalla del menú Web.

Nota

"OSS Information" se moverá desde "Device Status".

Inicio automático de la transferencia de archivos tras la grabación

Si "Auto upload" está ajustado en "On" en el menú Web, el archivo almacenado en una tarjeta SD se transferirá automáticamente tras la grabación. Si la videocámara graba el archivo proxy que hereda la información y la duración de la grabación del original según los metadatos de planificación, se creará una carpeta según la información de la etiqueta <Title> en dichos metadatos y el archivo se transferirá a esta carpeta. Además, el archivo de metadatos de planificación se transferirá tras añadir el ID del contenido multimedia al nombre de archivo.

Adición de un mensaje de error en el indicador de error/ advertencia

Se ha añadido lo siguiente al mensaje de error que aparece en la pantalla "Device Status" del dispositivo conectado a través de una LAN inalámbrica si la videocámara detecta un error.

Principales funciones actualizadas con el software de la videocámara (V2.3) y el software de la función de red (V2.42)

Notas

- Es necesario que actualice el software de la videocámara y el software de la función de red. Actualice primero el software de la videocámara y, después, el software de la función de red.
- Una vez finalizada la actualización de software de la videocámara, aparece "Actualización de versión/OK: Turn Power Off". Si no realiza ninguna acción, es posible que aparezca el mensaje de error "E-31001". Como la actualización ya se ha realizado, basta con apagar la videocámara y volver a encenderla.
- Utilice la V2.3 o posterior de la aplicación Content Browser Mobile.
- Para más información, consulte el manual de instrucciones más reciente (archivo PDF). Podrá descargarlo (archivo PDF) desde el sitio web de Sony.

Adición de los menús para almacenar archivos

- Los elementos y los datos de configuración pueden almacenarse o recuperarse en una memoria SxS/USB como archivo de usuario. Estas funciones pueden controlarse desde "OTROS" > "Datos usu.".
- El perfil de imagen puede guardarse o recuperarse desde una unidad de memoria USB. Estas funciones pueden controlarse desde "AJUSTE DEL PERFIL DE IMAGEN" > "Datos PP".
- Se pueden almacenar hasta un total de 64 archivos de configuración, archivos de usuario y perfiles de imagen.
- Es posible asignar un nombre al archivo de configuración y el archivo de usuario guardados.
 - "Datos" > "ID archivo"
 - "Datos usu." > "ID archivo"

Adición de la pantalla de estado RECENT FILES

La pantalla de estado muestra información de los archivos (hasta 9) cargados recientemente en la lista en el orden de carga. En la pantalla de estado RECENT FILES puede ver en la lista la información de hasta 9 archivos (hasta 3 en cada caso para el archivo de configuración, el archivo de usuario o el perfil de imagen).

Aparecen la fecha y la hora de carga del archivo, el tipo de archivo, el tipo de soporte y el nombre de archivo.

Registro del menú de personalización de archivo en el menú USUARIO

Los elementos del menú para guardar o recuperar un archivo de configuración, un archivo de usuario o un perfil de imagen pueden registrarse en el menú USUARIO.

Desactivación del ajuste asignable con el menú bloqueado

Si un elemento del menú no registrado en el menú USUARIO se asigna a la función asignable mientras el menú está bloqueado, se desactiva el ajuste asignable. Esta función resulta útil si no desea modificar otros ajustes de menús diferentes del menú USUARIO.

Notas

- Si el menú está bloqueado mientras que los elementos del menú de configuración dispuestos a continuación no están registrados en el menú USUARIO, la función del elemento del menú no se puede asignar a los botones asignables.

Tipo	ID de error/ advertencia	Descripción
Comunicación	E03-008	Error de certificación

Elementos del menú de configuración	Elementos del menú que se pueden asignar a botones asignables
CONF. CÁMARA > Manipul.zoom	Manipul.zoom
CONF. CÁMARA > Grab.con. cl. > Conf.	Grab. continua clip
CONF. CÁMARA > Gra.im.cache > Conf.	Caché imagen
CONF. CÁMARA > TLCS > Modo	1r plano Contraluz
LCD/VF SET > Cebra > Conf.	Cebra
LCD/VF SET > Función de nitidez > Conf.	Función de nitidez
LCD/VF SET > Marcador > Conf.	Marcador
LCD/VF SET > EVF > Modo	Modo VF
LCD/VF SET > Pantalla On/Off > Brillo	Brillo
LCD/VF SET > Pantalla On/Off > Histograma	Histograma
LCD/VF SET > Pantalla On/Off > Información lente	Información lente
CONF. RED > Modo cl. Red > Conf.	Modo cl. Red

Si las funciones anteriores aparecen asignadas a distintos botones asignables, los ajustes de asignación se desactivarán automáticamente al bloquear el menú.

- Si se bloquea el menú mientras la opción "SEL" del menú PICTURE PROFILE no aparece registrada en el menú USUARIO, se desactivará la selección con el menú directo.

Función de cambio de temperatura de color del balance de blancos

El número de elementos de ajuste de la temperatura del color para el blanco predeterminado aumenta hasta 4. Podrá modificar la temperatura entre los 4 ajustes de temperatura del color con la función asignable ajustando primero la temperatura del color.

- Puede seleccionar la temperatura del color entre 4 ajustes diferentes en "AJUSTE DEL PERFIL DE IMAGEN" > "Blanco" > "Sel. bl. pred."
- Puede definir la temperatura del color del ajuste de temperatura del color seleccionado en "Sel. bl. pred."
- Puede cambiar la temperatura del color con el botón asignable ajustando "BB pred." de "Asignar botón" <1> en <5>.

Nota

Esta función está disponible cuando el balance de blancos está en el modo predefinido.

Adición del formato de grabación de proxy

"HD/SD auto." puede seleccionarse como formato de grabación de proxy.

Puede realizar la selección en "CONF. RED" > "Archivo proxy" > "Tamaño".

Notas

- Cuando la videocámara está en el modo cliente de red al seleccionar "HD/SD auto.", la grabación de proxy se desactiva. Aunque "NCM con proxy" esté ajustado en "Activar", la grabación de proxy está desactivada.
- Cuando "CONF. RED" > "Archivo proxy" > "Tamaño" está ajustado en "HD/SD auto." mientras "OTROS" > "Sistema" > "Formato" está ajustado en "1080/23.98P" y "CONF. VÍDEO" > "Salida 23.98P" está ajustado en "23.98PsF", la grabación de proxy está desactivada.

- Si selecciona "HD/SD auto.", el tamaño se define en función del ajuste del formato de grabación grabado en la tarjeta de memoria SxS o el formato del clip que va a reproducirse.
- El archivo de proxy grabado con "HD/SD auto." tal vez no pueda reproducirse con el navegador web y Content Browser Mobile. Introduzca la tarjeta SD con el archivo de proxy grabado en el ordenador directamente para iniciar la reproducción.

Adición del formato de streaming

Es posible seleccionar el formato de la velocidad de bits más baja.

Puede realizar la selección en "CONF. RED" > "Editar streaming" > "Veloc. bits".

- Para "Tamaño" > 480 × 270:
0.3Mbps(MonoL)/0.3Mbps(MonoR)/0.2Mbps(MonoL)/0.2Mbps(MonoR)
- Para "Tamaño" > 320 × 180:
0.2Mbps(MonoL)/0.2Mbps(MonoR)

Nota

En este caso, la velocidad de fotogramas del vídeo es de 10fps y la frecuencia de muestreo del audio es de 48 kHz, mientras que la velocidad de bits del audio es de 56 kbps en el caso de Mono.

Ajuste de canal de audio para la grabación de proxy

En el menú de configuración es posible definir el canal de audio para la grabación de proxy.

Puede realizar la selección en "CONF. RED" > "Archivo proxy" > "Canal de audio".

Ajuste de canal de audio para streaming

En el menú de configuración es posible definir el canal de audio para el streaming.

Puede realizar la selección en "CONF. RED" > "Streaming" > "Canal de audio".

Mejora del tiempo de grabación de un soporte SxS

El tiempo de grabación máximo de un soporte SxS para la grabación de múltiples clips ha mejorado.

Principales funciones actualizadas con el software de la videocámara (V2.2) y el software de la función de red (V2.32)

Notas

- Es necesario que actualice el software de la videocámara y el software de la función de red. Actualice primero el software de la videocámara y, después, el software de la función de red.
- Una vez finalizada la actualización de software de la videocámara, aparece "Actualización de versión/OK: Turn Power Off". Si no realiza ninguna acción, es posible que aparezca el mensaje de error "E-31001". Como la actualización ya se ha realizado, basta con apagar la videocámara y volver a encenderla.
- Utilice la V2.2 o posterior de la aplicación Content Browser Mobile.
- Para más información, consulte el manual de instrucciones más reciente (archivo PDF). Podrá descargarlo (archivo PDF) desde el sitio web de Sony.

Incorporación del menú Usuario

La última incorporación ha sido el menú Usuario con el que podrá registrar los ítems de los menús CONF. CÁMARA, CONF. AUDIO, CONF. VÍDEO, LCD/VF SET, CONF. TC/UB, CONF. RED, OTROS o IMAGEN DE PERFIL que más utilice en el menú Usuario. Podrá realizar el registro directamente desde el menú PERSON. MENÚ USUARIO.

Incorporación de la función de bloqueo del menú

Se ha incorporado esta función para bloquear el menú Configuración y para que aparezca, únicamente, el menú Usuario.

- Pulse el dial de desplazamiento y el botón MENU a la vez para que aparezca el menú Configuración e introduzca la contraseña en User Menu with Lock>On a fin de bloquear la pantalla de dicho menú y que solo aparezca el menú Usuario. Esta función resulta de gran utilidad a la hora de modificar, únicamente, los ajustes del menú Usuario.
- Para desbloquear el menú y para que vuelvan a aparecer las listas de todos los menús, pulse el dial de desplazamiento y el botón MENU a la vez para que aparezca el menú Configuración y, a continuación, introduzca la misma contraseña que en User Menu with Lock>Off.

Nota

Se recomienda guardar la contraseña para referencias futuras. Si olvida su contraseña, póngase en contacto con un representante del servicio técnico de Sony.

Compatible con tarjetas SDXC

Grabación de un archivo original

Al utilizar un adaptador de soportes MEAD-SD02 opcional, podrá grabar y reproducir con una tarjeta SDXC.

Las tarjetas SDXC solo se pueden utilizar en modo exFAT.

Tarjeta SDXC (clasificación de velocidad SD: 10)

Notas

- Al utilizar una tarjeta SDXC con esta unidad, formáteela con la función de formateo de la unidad (OTROS>Format. Media>Media (A) o Media (B)).
- Es posible que no se pueda reproducir a alta velocidad con una tarjeta SDXC.
- Mientras utiliza una tarjeta SDXC, no emplee otros tipos de tarjetas de memoria. De hacerlo, el cambio a otro soporte no se podrá ejecutar mientras se esté grabando si el soporte no tiene espacio.
- En función de la tarjeta de memoria SDXC utilizada, puede que la grabación en formato XAVC-I o en modo Movimiento a cámara lenta y rápida no se realice correctamente. Se recomienda utilizar una tarjeta de memoria SxS PRO o SxS PRO+.
- En función del tipo de unidad empleada, es posible que la tarjeta SDXC grabada con una videocámara de la serie PMW y PXW no se pueda utilizar para grabar ni reproducir con esta unidad. Para obtener más información, póngase en contacto con su distribuidor Sony o con el representante de asistencia técnica de Sony.

Grabación de un archivo proxy

Se añade la tarjeta SDXC a los soportes capaces de grabar proxy. Tarjeta SDXC (clasificación de velocidad SD: superior a 4)

Notas

- Al utilizar una tarjeta SDXC en esta unidad, formáteela con la función de formateo de la unidad (CONF. RED>Archivo proxy>Format. tarj. SD).
- Esta videocámara cambia el formato de la tarjeta SDXC a exFAT.

Incorporación de nuevos formatos para admitir la grabación simultánea en 2 ranuras

Se han incorporado nuevos formatos que admiten la grabación simultánea en 2 ranuras SxS.

Entre los nuevos formatos se encuentran:

- Al establecerse cualquiera de los formatos siguientes en modo exFAT/HD en "Sistema" del menú OTROS

–MPEG2 HD422

–MPEG2 HD420HQ

- Al establecerse cualquiera de los formatos siguientes en modo UDF/HD en "Sistema" del menú OTROS

–MPEG2 HD422

–MPEG2 HD420HQ

Nota

Cuando se haga uso de la Grabación simultánea en las 2 ranuras, use tarjetas de memoria del mismo tipo y tamaño.

Incorporación de la función de grabación de proxy en modo Cliente en red

La función de grabación de proxy en modo Cliente en red se incorpora al conectar la estación RX de red PWS-100RX1 de Sony (opcional).

- Configure los siguientes ajustes para grabar proxy en modo Cliente en red.

–CONF. CÁMARA>Proxy>On

–CONF. RED>Modo cl. Red>NCM con proxy>Activar

Notas

- La velocidad de bits del streaming que se puede establecer en la estación RX de red PWS-100RX1 está limitada en función del formato de grabación de proxy.
 - Cuando el formato de grabación de proxy sea 1280 × 720 9Mbps/6Mbps: la velocidad de bits del streaming será de 1Mbps o inferior a Very Low.
 - Cuando el formato de grabación de proxy sea 640 × 360 3Mbps o inferior: la velocidad de bits del streaming será de 3Mbps o inferior a Low.
- El formato de proxy no se puede cambiar mientras el modo Cliente en red esté activado. Para cambiar el formato de proxy, desactive el modo Cliente en red.

Incorporación de la función de transferencia de archivos en modo Cliente en red

Podrá transferir el archivo al servidor configurado en CCM conectando la unidad al CCM de la estación RX de red PWS-100RX1 (opcional) en modo Cliente en red.

Notas

- En modo Cliente en red no se puede realizar la transferencia de archivos durante el streaming.
- La transferencia de archivos se detendrá si inicia el streaming en modo Cliente en red mientras se esté llevando a cabo la transferencia. La transferencia de archivos se reiniciará si detiene el streaming.

Transferencia parcial de un archivo original grabado en esta unidad

Si utiliza la aplicación "Content Browser Mobile", puede transferir una parte recortada de un archivo especificando los puntos de entrada y de salida en el archivo original grabado por esta unidad.

Además, puede transferir las partes recortadas de varios archivos utilizando el Guión gráfico.

Utilice la última versión de la aplicación "Content Browser Mobile".

- Los formatos compatibles con el archivo original son:
 - En modo exFAT: XAVC-I/XAVC-L50, 35 y 25/MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ
 - En modo UDF: MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ

Notas

- Para transferir parcialmente el archivo original con "Content Browser Mobile", grabe el archivo de proxy con el mismo

nombre de archivo que el archivo original utilizando los siguientes ajustes.

–Establezca “Proxy” del menú CONF. CÁMARA en “On”.

–Establezca “Coincid. nombre clip” del menú CONF. VÍDEO en “On”.

–Establezca “NCM con proxy” en la sección “Modo cl. Red” del menú CONF. RED en “Activar” al activar el modo Cliente en red.

- Durante la transferencia parcial del archivo original, no pueden realizarse las siguientes operaciones.

–Operaciones con clips

–Formateo de soportes

–Conexión al PC a través de USB

- Mientras se realice la transferencia parcial del archivo original, el tiempo necesario para almacenar las imágenes en la memoria caché de imágenes de la sección Grabación de la caché de imágenes será inferior al tiempo establecido en “Tiempo grab.” en el apartado “Gra. im. cache” del menú CONF. CÁMARA.

Incorporación de la pantalla de estado de la configuración del mando a distancia con Wi-Fi

Se ha incorporado la pantalla de configuración del menú Mando dist. red, encargado de activar o desactivar el acceso al mando a distancia con Wi-Fi y al menú Web de esta videocámara en la pantalla de estado Botón/Remoto.

Principales funciones actualizadas con el software de la videocámara (V2.1) y el software de la función de red (V2.12 / V2.15)

Notas

- Es necesario que actualice el software de la videocámara y el software de la función de red. Actualice primero el software de la videocámara y, después, el software de la función de red.
- Utilice la V2.0 o posterior de la aplicación Content Browser Mobile.

Módulo LAN inalámbrico CBK-WA02 5GHz compatible (vendido por separado)

Si el nuevo módulo LAN inalámbrico está instalado, “Auto (5GHz)” se añade a “CONF. RED” > “Canal”. Si el modo operativo de la LAN inalámbrica está ajustado en “Emisora” en “CONF. RED” > “Modo Red”, puede acceder a los puntos de acceso compatibles con 5GHz.

Nota

Es posible que “Auto (5GHz)” no aparezca, en función del módulo de LAN inalámbrica utilizado.

No aparece si el módulo está pensado para un país o una región en el que la utilización de la banda de 5GHz en exteriores esté prohibida. Asegúrese de que el módulo de LAN inalámbrica puede utilizarse en el país o la región en cuestión. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del módulo de LAN inalámbrica.

Método de conexión del módulo LAN inalámbrico (CBK-WA02 (vendido por separado))

1. Abra la tapa del conector de dispositivos externos.
2. Instale el adaptador de extensión del módulo de red (CBK-NA1E) suministrado con el módulo de LAN inalámbrica CBK-WA02 (se vende por separado) en la videocámara. Conecte el terminal convexo al conector de dispositivo externo de la videocámara y conecte el módulo de LAN inalámbrico al terminal cóncavo. Puede acoplar el adaptador al orificio del tornillo (1/4 pulg.) del soporte de la zapata para accesorios.

3. Instale el módulo de LAN inalámbrica en el adaptador de extensión del módulo de red.

Nota

Instale/extraiga el módulo de LAN inalámbrica mientras la videocámara está apagada.

Principales funciones actualizadas con V2.0

Notas

- Es necesario que actualice el software de la videocámara y el software de la función de red. Actualice primero el software de la videocámara y, después, el software de la función de red.
- Una vez finalizada la actualización de software de la videocámara, aparece “Actualización de versión/OK: Turn Power Off”. Si no realiza ninguna acción, es posible que aparezca el mensaje de error “E-31001”. Como la actualización ya se ha realizado, basta con apagar la videocámara y volver a encenderla.
- Para obtener más información sobre la utilización de las funciones adicionales, consulte “Información sobre las funciones adicionales” (archivo PDF). Puede descargar el archivo “Información sobre las funciones adicionales” en el sitio web de Sony.

Función de streaming de alta calidad con la tecnología QoS de Sony

Gracias al nuevo modo cliente de red, utilizado en la estación de RX de red Sony PWS-100RX1 (vendida por separado), es posible disfrutar de un streaming de alta calidad gracias a la tecnología QoS de Sony y a través de la red LTE/4G.

- Los ajustes de conexión pueden definirse en “Modo cl. Red” > “Direc. CCM”, “Puerto CCM”, “Nom usar”, “Contras.”, en el menú CONF. RED.
- El modo cliente de red puede activarse o desactivarse en “Modo cl. Red” > “Conf.”, en el menú CONF. RED.
- Si el modo cliente de red está seleccionado, el ajuste y el control del streaming pueden realizarse a través del PWS-100RX1.
- En la pantalla Device Status del menú Web integrado en la videocámara, puede confirmar el estado del modo cliente de red.

Notas

- Al activar el modo cliente de red, no es posible realizar operaciones de streaming, monitorización, grabación proxy o transferencia de archivos.
- Al activar el modo cliente de red durante una operación de monitorización, grabación proxy o transferencia de archivos, estas operaciones se interrumpen.

Acerca de la obtención de la información de posicionamiento (GPS)

Puede grabar la información de posicionamiento en los datos de proxy a través de GPS.

Grabación de las imágenes fijas de los datos de proxy

Cuando se realiza la grabación proxy, se graba simultáneamente la imagen fija del primer fotograma de los datos de proxy.

Mostrar miniaturas de los datos de proxy

Es posible mostrar las miniaturas de los datos de proxy rápidamente usando la imagen fija del primer fotograma.

Transferir datos de proxy parcialmente

Si utiliza la aplicación Content Browser Mobile V2.0 o posterior, podrá transferir los datos parciales cortados especificando el punto de entrada y el punto de salida de los datos de proxy.

Notas

- En el archivo generado, se añade un margen máximo de 15 fotogramas delante y detrás del punto cortado.
- Al cortar los datos de proxy grabados con el software de función de red V1.32 o anterior, es posible que los datos no puedan usarse en el editor no lineal.

Añadir una Essence Mark a los datos grabados de esta unidad

Si utiliza la aplicación Content Browser Mobile V2.0 o posterior, podrá añadir Essence Marks mientras graba en esta unidad. Además, se aplican a los datos de proxy. Es posible definir la posición de corte de un archivo simplemente utilizando la información de la Essence Mark.

Notas

- Solo se podrá llevar a cabo en aquel archivo de proxy que tenga la misma duración de grabación y grabe correctamente la información del archivo original en esta unidad.
- Cuando se divide el archivo original, las Essence Marks no se aplican a los datos de proxy.

Acerca de la configuración del formato de streaming y el formato de proxy

Si la opción "Veloc. bits" en la configuración del formato de proxy está ajustada en "9Mbps" en la V1.2 (software de la videocámara), la opción "Veloc. bits" de la configuración de streaming no puede ajustarse en un valor superior a "6Mbps". Sin embargo, el ajuste puede realizarse en la V2.0 (software de la videocámara). Si selecciona una opción predeterminada cuya "Veloc. bits" esté ajustada en un valor superior a "6Mbps", la opción "Veloc. bits" de la configuración de streaming no cambia automáticamente a "3Mbps".

Acerca de la monitorización de Content Browser Mobile

El vídeo de monitorización puede interrumpirse a causa de problemas en la señal cuando se utiliza en dispositivos móviles.

Cambio de formato de monitorización

La opción "640×360 (3Mbps)" de "Size" ha desaparecido de las opciones de formato de monitorización. Si utiliza este ajuste, "Size" se ajusta en "480×270 (1Mbps)".

Modificaciones en el canal LAN inalámbrico

El ajuste del canal LAN inalámbrico se ha modificado parcialmente (opción "Canal" del menú CONF. RED).

Alimentación al micrófono inalámbrico instalado en la zapata de interfaz múltiple

Inicialmente, no era posible proporcionar alimentación a la zapata de interfaz múltiple mientras se utilizaba la función de red. Gracias a esta actualización, ahora es posible proporcionar alimentación a la zapata de interfaz múltiple cuando la videocámara se utiliza con la batería. Por tanto, puede utilizar el micrófono inalámbrico UWP-D11/D12 con la función de red.

Modificaciones en otros menús

<Menú LCD/VF SET>

- "Estado cliente red" se añade a las opciones de "Pantalla On/Off". La indicación de estado de la conexión con CCM se activa o desactiva en el "Modo cl. Red".

<Menú CONF. RED>

- Incorporación de "6Mbps" en "Archivo proxy"> "Veloc. bits"
- El menú "Wi-Fi dist." se denomina ahora "Mando dist. Red". Con el cambio de nombre del menú, si la opción "LAN con cable" está activada en "Modo Red" del menú CONF. RED, es

posible acceder al menú Web de la unidad y utilizar el control remoto Wi-Fi.

<Menú OTROS>

- "Modo cl. Red" se añade a las opciones de "Asignar botón"> de "<1>" a "<5>".

También puede asignar la función "Modo cl. Red" al botón asignable.

Principales funciones actualizadas con V1.2

Nota

Se han ampliado las funciones de red, por lo que han cambiado las capas de los menús y los nombres de las opciones. Para obtener más información, consulte la última versión del manual (PDF).

Grabación simultánea en 2 ranuras

La videocámara admite la Grabación simultánea usando 2 ranuras para tarjetas SxS.

- Esta función puede activarse y desactivarse con "> Grabación simultánea" en el menú CONF. CÁMARA.

Notas

- La Grabación simultánea solo puede utilizarse con los siguientes formatos en el modo exFAT/HD.
XAVC-I
XAVC-L50
XAVC-L35
XAVC-L25
- Al usar la Grabación simultánea, utilice tarjetas de memoria del mismo tipo y tamaño.
- La Grabación simultánea no puede utilizarse al mismo tiempo que las siguientes funciones:
Grabación de fotogramas
Grabación continua de clips
Grabación de la caché de imágenes
Grabación con movimiento a cámara lenta y rápida
Grabación a intervalos
Grabación proxy
Conexiones de red (cuando "Red&Proxy" está ajustado en "Red&Proxy/USB" en el menú CONF. RED.)
Streaming

Función Streaming

Se ha añadido la función Streaming, que permite transmitir un vídeo en directo de la videocámara a través de Internet o de una red local.

- La función puede activarse y desactivarse desde "Streaming"> "Conf." en el menú CONF. RED, y es posible seleccionar una opción predeterminada desde "Sel. predet."
- Es posible editar las opciones predeterminadas desde "Editar streaming" en el menú CONF. RED.

Notas

Si la opción "Veloc. bits" en el formato de grabación proxy está ajustada en "9Mbps".

- La opción "Veloc. bits" en la configuración de streaming no puede ajustarse en "6Mbps" o más.
- Si selecciona una opción predeterminada cuya "Veloc. bits" sea igual o superior a "6Mbps", la "Veloc. bits" de la función de streaming pasará automáticamente a "3Mbps".

Compatible con un módem LTE/LAN con cable

La conexión de red puede utilizarse conectando el adaptador de extensión del módulo de red suministrado con el kit de adaptador de red opcional CBK-NA1 y el módem 3G/4G/LTE opcional al conector del dispositivo externo. Asimismo, es posible usar un adaptador USB-RJ45 suministrado con el kit del

adaptador de red CBK-NA1 opcional para disponer de la conexión de red a través de un cable de red.

- Para usar un módem 3G/4G/LTE, hay que seleccionar "Módem" en "Modo Red" en el menú CONF. RED.
- Una LAN con cable puede configurarse con la opción "Con. LAN cable" dentro del menú CONF. RED.

Notas

- Para obtener información sobre los módems compatibles, póngase en contacto con su distribuidor Sony o con un representante del servicio de asistencia de Sony.
- Cuando la opción "Veloc. bits" aplicable a la función de streaming esté ajustada en "9Mbps" o "6Mbps", ajuste de antemano la opción "Veloc. bits" aplicable al formato de la Grabación proxy en un valor distinto de "9Mbps".

Función GPS

Tiene la opción de activar el módulo GPS integrado.

La función puede activarse y desactivarse desde "GPS" en el menú OTROS.

Compatible con la zapata de interfaz múltiple

Puede utilizar un accesorio compatible con la zapata de interfaz múltiple usando la zapata para accesorios delantera.

- Es posible usar un micrófono compatible con la zapata de interfaz múltiple ajustando "Entrada CH1 EXT" y "Entrada CH2 EXT" en "SHOE MIC" dentro de "Entr. audio" en el menú CONF. AUDIO.
- Al usar la iluminación de vídeo compatible con la zapata de interfaz múltiple, puede seleccionar el método de control para encender y apagar la iluminación a través de la videocámara desde "Conjunto ilumi. vídeo" en el menú CONF. CÁMARA.

Nota

Para obtener información sobre los accesorios compatibles con la zapata de interfaz múltiple, póngase en contacto con su distribuidor.

Compatible con 3G-SDI Level A

Ahora también puede utilizarse la salida 3G-SDI Level A, además de Level B.

- Es posible seleccionar "Level A" o "Level B" en "A/B nivel 3G SDI OUT" en el menú CONF. VÍDEO.